

第16回(平成30年度助成分)

公益信託ひらつか市民活動ファンド

# 活動報告会

◆開催日 平成31年4月27日(土)

◆会場 ひらつか市民活動センター

## 目次

- スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
- 報告団体一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- 入門コース 助成申請書(3団体)・・・・・・・・P3~15
- 発展コース 助成申請書(7団体)・・・・・・・・P16~52
- 組織基盤整備コース 助成申請書(1団体)・・・P53~56
- 運営委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・P57
- 寄附紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・P58

## 活動報告会スケジュール

●開催日：平成31年4月27日（土）

●会場：ひらつか市民活動センター

時間	内 容
14:00	<b>活動報告会開会</b> ・運営委員紹介 ・事務局説明（スケジュールと発表の方法など）
14:15	<b>活動報告（プレゼンテーション）</b> ・報告団体による発表（3分）、質疑応答（3分）、運営委員から講評（2分） ※ 質疑応答では、1つの質問に対して1分以内程度で回答してください。  【入門コース 報告】3団体 【発展コース 報告】7団体 【組織基盤整備コース 報告】1団体
16:25	<b>抱負と講評</b> ① 報告団体による今後の活動への抱負（各団体1分以内程度） ・運営委員からの助言を受けての対応、発表団体間連携の発展への思いなど ② 運営委員長による活動報告会全体の講評 ③ 事務局からの連絡事項
16:50	閉会

# 報告団体一覧

## ●入門コース(3団体)

	団体名	申請活動・事業名	助成額	ページ
1	朗読会	老人ホーム等への訪問の奉仕活動での準備品充実	8万	3
2	NPO法人 未来経験プロジェクト	朝ごはんこども食堂	7万	7
3	First Step (ファーストステップ)	子ども主体で企画するランタンまつりの事前視察と勉強会	6万	11
		合計	21万	

## ●発展コース(7団体)

	団体名	申請活動・事業名	助成額	ページ
1	平塚ゆかりの作家 中勤助を知る会	〔平塚ゆかりの作家〕中勤助文学記念碑建設事業	32万	16
2	NPO法人 暮らし・つながる森里川海	木育と環境学習活動の展開	14万	20
3	子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋	子どものための学習支援教室	14万	25
4	湘南ひらつかビーチクラブヨット部会	初級ヨット教室開催	21万	29
5	湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会	吉沢八景活用事業	38万	35
6	カベラ日本語の会	「ボランティアのための養成プログラム」作りを通じた事業の継続と増える技能実習生対応の強化	16万	40
7	親と子の寺子屋 ふれあい自遊塾	指導者養成研修会、講演会、親子テーブルゲーム大会	15万	49
		合計	150万	

## ●組織基盤整備コース(1団体)

	団体名	申請活動・事業名	助成額	ページ
1	NPO法人 ぜんしん	人材募集・育成および信頼獲得に向けた中・長期ビジョン策定事業	20万	53
		合計	20万	

受付番号	
受付月日	

**公益信託ひらつか市民活動ファンド 平成30年度事業報告書**

1 団体名	朗 読 会										
2 活動・事業名	老人ホーム等への訪問の奉仕活動での準備品充実										
3 コース区分 ・助成額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) ■入門コース ・ 発展コース	8万円									
4 実施期間	(開始期日) 平成30年 4月 1日 ~ (完了期日) 平成31年 3月31日										
5 活動・事業 の目的  申請書と同じ内容を 記入してください。	<p>(申請時) 現在、訪問時の教材や発表での準備品は、原則各人が(各人の費用で)用意している。又、活動内容の充実のために各人が研究・研鑽しているが、会として提供できる書籍や備品の蓄えが少なく、又古いものが大半である。(例えば歌集等はだいぶ古くなっており、都度使っていただき方々にお気の毒な状況です。</p> <p>そこで、今後の活動の更なる充実を期して、会の負担で会員からの希望備品類の整備充実を図りたいと助成申請することとし、助成をいただきました。</p> <p>A:訪問先の皆様には今まで以上に満足いただけると確信します。</p> <p>B:又、新規会員の参加の際、奉仕教材や研修素材があることで、安心して参加頂けることで会員の増加も期待できる。</p>										
6 実施した 内容  活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。  ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>助成金確定時の主たる用途及び使用実績</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 歌集作成</td> <td>予算 4万円</td> <td>実績 44,920円</td> </tr> <tr> <td>2. 紙芝居道具等</td> <td>” 2 ”</td> <td>” 21,393円</td> </tr> <tr> <td>3. 書籍購入</td> <td>” 2 ”</td> <td>” 14,083円</td> </tr> </table> <p>助成金確定後、新規歌集作成については予算面で無理があるとのことから、活動ファンド事務局にもご相談し、上記1の断念と上記2&amp;3等への用途拡大をご相談し、内諾をいただきました。</p> <p>しかし、その後、一部会員のご努力で、歌集については当初予算程度で確保の見通しがつきましたので、結果的には当初の活動案を踏襲することとしました。</p> <p>予算執行に関して、結果としてはほぼ当初予算の枠で実施できた。</p> <p>1. 歌集：試験的に20冊程を購入、訪問先で試験的に利用していただいた結果、皆様の評価も良く、残る予算額での追加作成を決定した。</p> <p>2. 備品：一部施設では、音響装置が良くないところもあり、会員の希望もあり、備品としてスピーカー購入を行った。(予算的に余裕なく1台のみ)又、「話し方教室」発行のCDやDVDも購入した。</p> <p>3. 書籍購入； 朗読、歌謡等活動に関係した書籍・歌集等を購入した。</p>		1. 歌集作成	予算 4万円	実績 44,920円	2. 紙芝居道具等	” 2 ”	” 21,393円	3. 書籍購入	” 2 ”	” 14,083円
1. 歌集作成	予算 4万円	実績 44,920円									
2. 紙芝居道具等	” 2 ”	” 21,393円									
3. 書籍購入	” 2 ”	” 14,083円									

<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>当会としては、初めての助成金申請で、会の事務局の運営上の不手際もあったが、今回の活動を通して得られた主たる成果は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 助成金申請の検討過程で、会員とのざっくばらんな意見交換ができた</li> <li>2. 同時に申請された他の団体での活動状況を垣間見ることができ、参考となる点が多くありました。</li> <li>3. 助成金確定後、執行段階では、会員の皆様のご協力を得ることができ、又、「何に活かすのが良いか？」についての議論の中で、日頃の活動について会員各人の訪問時の問題点や課題等についても情報共有ができた。</li> <li>4. 今回の活動を通して、会員各人の「よりよい活動への意欲と努力」の面で会員の中に活動への積極性が増したと思われる。</li> </ol> <p>又、各施設の職員の皆様方からは、今回の私たちの助成金活用の活動なり、実際に備品が充実したことへの評価もあり喜んでいただきました。</p> <p>私たちの活動に参加いただいている方々からも、喜んでいただけるとの会員の声も上がっており、会員たちもやり甲斐を深くいただいています。</p> <p>朗読活動も喜ばれるが、今回力を入れた「皆で歌う」ことで、参加の笑顔も多く見られるようになったとの会員の声も増えました。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を画った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>歌集については、当初、予算的に無理感が強く、断念せざるを得ないか？との状況に陥りました。事前の準備不足が招いた事態であるとの反省でありました。しかし、結果的には、会員の知恵で思ってもいない予算での実行が叶い、安堵しました。</p> <p>この背景には、会員の友人（他地区で活動）からのお力添えもあり、「善意の輪」の成せる技だなと実感した次第です。</p> <p>助成金の活用という面では、今季中での備品類の有効活用が出揃ったわけではなく、翌期以降での活動でその真の効果が発揮されるものと期待します。</p> <p>又、こうした成果を見極める中で新たな活動検討を行いたいと考えます。</p> <p>今回は「入門コース」でしたが、更なる活動充実のために、いずれ「発展コース」への取り組みも視野にいれ活動拡大を行ってゆくこととしたい。</p>
<p>9 今後の 活動計画・ 事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うのであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>助成金利用は、初めての経験であったため現時点で、今後についての具体案は残念ながら会員の中で合意が得られている状況ではありません。しかし、執行部側としては、以下の点について考えたいと持っております。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 他地区団体との交流（他地区訪問）</li> <li>2. 専門講師招聘による、更なる技術の向上</li> <li>3. ボランティア活動についての情報収集と会員への情報供与</li> </ol> <p>上記1及び2については、費用もかかることから、助成金申請も一策かと考えております。</p> <p>私達朗読会も会員の高齢化問題を抱えており、今後共充実した活動を継続するためには、新規会員の確保が不可欠の条件となります。</p> <p>本年度は、幸いにも新規会員増がありました。これは、関係機関のご協力や、昨年制定したホームページ等の効果もあったのではと考えております。</p> <p>今後共、ご指導・ご支援の程よろしくお願い申し上げます。</p>

10 活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、助成対象事業に限定した収支を記載してください。

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
助成金	80,000	80,000	0	ひらつか市民活動ファンド助成金
会からの補填		396	396	活動費助成金を超えてしまった文について、会の運営費から補填した。
収入合計	A 80,000	B 80,396	B-A 396	発展コースの場合：事業費決算額 円 × % = 円 助成金の申請限度額 円
項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
歌集作成	40,000 (40,000)	44,920 (44,920)	4,920	歌集90冊 (20冊=3,300円, 70冊35,000円) 自主印刷 4,620 歌集編集へのお礼 2,000円
備品類	20,000 (20,000)	21,393 (21,393)	1,393	スピーカー 9,513 話し方教室CD, DVD 等教材6セット1,880円
書籍購入	20,000 (20,000)	14,083 (13,687)	△5,917	朗読、歌謡等の関連書籍、歌集等 合計11冊
	( )	( )		
	( )	( )		
	( )	( )		
	( )	( )		
支出合計	C 80,000 (80,000)	D 80,396 (80,000)	D-C 396	
③収支決算額	B 円 - D 円 =		円	【備考】

※支出額の ( ) 内は、支出のうち助成金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

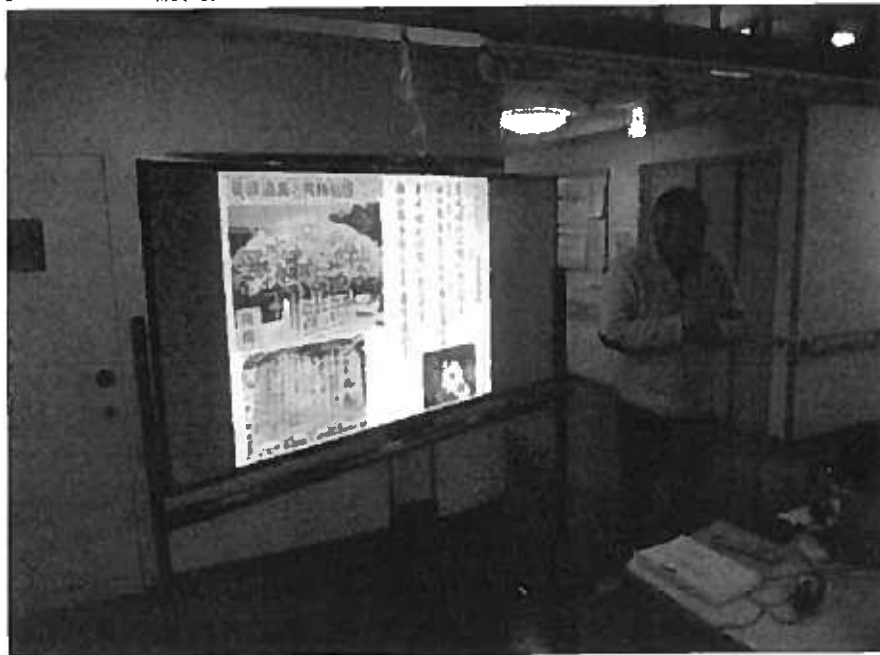


2. 活動・事業実施状況の写真

訪問先の了解を得て、活動者のみ撮影した。

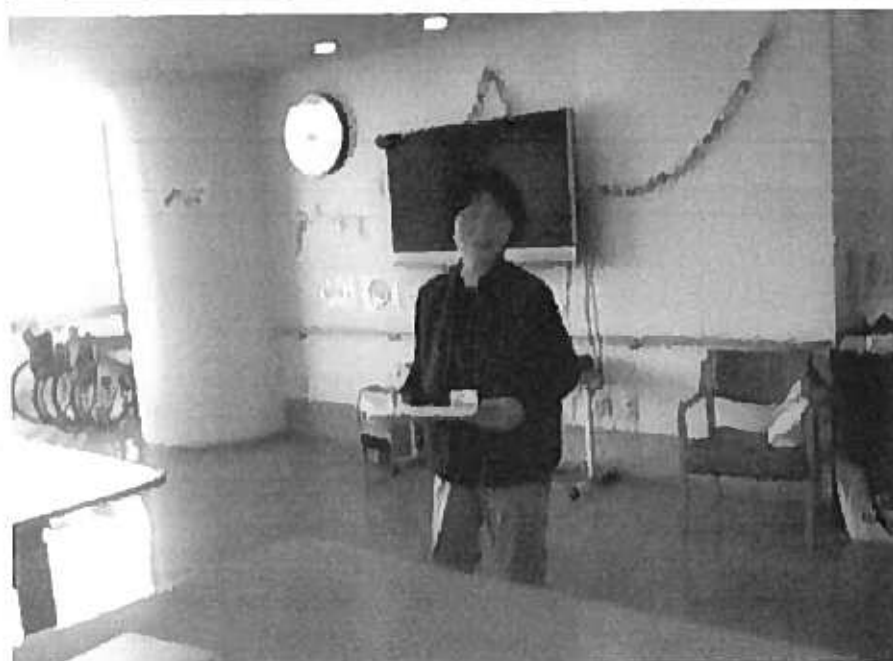
1) 某養護施設での活動

活動日：H31年2月5日



2) 某養護施設での活動  
歌集を教材として皆さんで歌っています。

活動日：H31年3月8日



3) H30年度第<sup>5</sup>回  
定例会

会合日：H31.1.28



受付番号

受付月日

## 公益信託ひらつか市民活動ファンド 平成30年度事業報告書

1 団体名	NPO法人未来経験プロジェクト	
2 活動・事業名	朝ごはんこども食堂	
3 コース区分 ・助成額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) <input checked="" type="checkbox"/> 入門コース ・ <input type="checkbox"/> 発展コース	7万円
4 実施期間	(開始期日) 平成30年 4月16日 ~ (完了期日) 平成31年 3月 4日	
5 活動・事業 の目的  申請書と同じ内容を 記入してください。	<p>経済的に困窮していること、またはネグレクト環境に置かれている事等の理由から、家庭での食事が保障されていない子どもたちが増えている。学校での給食等が唯一の食事である子どももおり、成長発達に支障をきたす子どもや、授業等に集中することが難しい子どもが存在している。また、お弁当がないことにより登校できない子どももいる。また、こどもだけではなく、大人も食事をとらない人や、一人で食事をしている人が増えている。</p> <p>地域の中の関係性も希薄化しており、相談できる関係を築くことができず、必要な支援に繋がらない家庭がある。また、地域の支援者も、支援が必要な子どもや家庭を把握することが難しくなっている。</p> <p>定期的に食事を提供することにより、子どもの成長発達を促すこと、地域の人々とともに食事をするにより、顔の見える関係を築き、地域の繋がりを作ることを目的とする。また、食堂が地域の人々の居場所となり、見守りの中で、支援の必要な子どもや家庭を把握すること、関係機関等と連携して必要な支援に繋げることを目的とする。</p>	
6 実施した 内容  活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。  ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>朝ごはんこども食堂を開催 【日時】平成30年/毎月第3月曜日 7時~8時15分 平成31年/毎月第1月曜日 ⇒平成30年は、人が集まらないと思われたため祝日はお休みにした。 ⇒平成31年から、仕事や部活に行くのに間に合わないという意見があり、朝6時から開始に変更した。また別途開催している寺子屋の開催日が第3月曜日になった。モニタリング機能を維持するため、食堂は第1月曜日に変更した。 ⇒月に1度の開催ではタイミングを合わせることが難しいとの意見があった。また、祝日は休みとしたが時があきすぎてしまうとの意見があったため、第1月曜日に学校が休みの場合、第2月曜日に開催することとした。</p> <p>【場所】食彩酒房 あおば(明石町19-24)</p> <p>【メニュー】おにぎりと味噌汁、副菜 ⇒ご寄付頂いた食材の都合上、また季節を感じてもらうためメニューをカレーやお雑煮に変更した月がある。</p> <p>【料金】子ども 50円、大人 200円(1食あたり)</p>	



<p><b>7 得られた成果・効果</b></p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>①食事を提供し、子どもの生活リズムを整え成長発達を促す⇒楽しみにし、早起きして来る子もいた。家では食事量の少ない子が皆と一緒に食べると食事量が増えた、栄養バランスのいい食事をさせることができた、親子だけで過ごしていると煮詰まることがあるが外で皆と一緒に食べると周りの人に関わってもらいフレッシュできたという意見もあった。②持ち帰りを可能にして、登校を促し、保護者の負担を軽減する⇒中学生の持ち帰りはなかったが、大人の利用者が多かった。朝食を提供したことで保護者の負担が軽減したとの意見があった。遅刻や欠席が多い子も自ら起きて食堂に来ることができるようになり、登校を促すことに繋がった。③定期的・継続的に開催し子どもたちの居場所となる⇒夏休みにのんびり過ごしに来た子もいた。自分たちの場所なので他の人には教えないという子もおり、居場所として認識されつつあると思われる。④モニタリングし、子どもや家庭の変化を捉え、相談に応じ、関係機関と情報共有をすることにより、地域の中で子どもと家庭を支える場所となること、地域の課題に気付き地域で解決する土壌をつくる⇒子どもたちの情報を関係機関と共有した。子どもが食堂に来ることができない日には、地域の方に食事を届けてもらい安否確認した。長期休暇には食堂が安否確認の場所になりうると感じた。⑤地域の様々な立場の人々とともに食事をするにより、様々な世代の交流を可能にし、孤食を防ぐ。顔の見える関係を築き、地域の繋がりを作る。⇒学校の先生と一緒に食事をしてくれ、子どもたちがとても喜んでいった。会場が狭く相席であるため、地域の方々が顔を合わせ、声をかけあい、繋がりは始めている。民生委員等は、子どもたちと出会う機会がなかったとのことだが、食堂が地域の人として子どもたちに出会う機会となったとのこと。一人で食事に来る大人も子どもたちのお喋りを聴きながら和やかな雰囲気の中で食事を楽しみ、子どもたちから元気を貰い、1日を元気に始められると話していた。</p>
<p><b>8 反省点・課題</b></p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>①月曜日に開催したことで、前日にアナウンスができないという意見があった。⇒学校が週末に校内放送でアナウンスをし、メールで周知して下さった。②今後は火曜日以降に開催日を変更する必要があるか。⇒月に1度の開催ではタイミングを合わせる事が難しいとの意見があった。また、祝日は休みとしたが間があきすぎてしまうとの意見があった。⇒31年度は学校と事前に日程調整を行い、毎月開催することとした。また、年間予定を配布した。③子ども食堂は貧困対策として行っているというイメージから、利用に繋がらない場合もあったと思われる。⇒名称変更も検討か。継続してきてもらう中で、口コミで広がっていくのを待つことも必要か。</p>
<p><b>9 今後の活動計画・事業展望等</b></p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>崇善地区、富士見地区、松原地区の住民、近隣への通勤・通学者を対象としたが、エリア外から来る子どもたちもいた。今後は高校生・大学生にも周知したいと考える。また、平塚市内で開催場所を増やしていく予定。(山下、旭学区)このほか、学校内でのカフェや食堂の運営を目指している。</p>

### 10 活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、助成対象事業に限定した収支を記載してください。

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
助成金	70,000	70,000	0	ひらつか市民活動ファンド助成金
参加費	36,000	32,350	▲3,650	子ども55名×50円 大人141名×200円 14名×100円
① 収入	24,000	4,368	▲19,632	団体年会費から充当
収入合計	A 130,000	B 106,718	B-A ▲23,282	
項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
消耗品費	24,000 ( 24,000)	23,476 ( 23,002)	▲524	焼き網 498円 スポンジ 176円 ごみ袋 396円 おしぼり 912円 ラップ 3878円 紙 2760円 コップ 2384円 袋 358円 はし 579円 チョーク 297円 ノート 199円 鉛筆 299円 養生テープ 2948円 テープ 238円 レジ袋 1214円 のり 2094円 ジップロック他 4246円
会場使用料	12,000 ( 12,000)	10,000 ( 10,000)	▲2,000	1,000円×10回
印刷費	25,000 ( 25,000)	27,000 ( 27,000)	2,000	チラシ印刷代
物品購入費	9,000 ( 9,000)	9,998 ( 9,998)	998	コンテナ 4個×1807円=7,228円 ホワイトボード等 2,770円
食料費	60,000 ( 0)	36,244 ( 0)	▲23,756	他団体や個人から食料の提供を受けたため
支出合計	C 130,000 ( 70,000)	D 106,718 ( 70,000)	D-C ▲23,282	
③ 収支決算額	B 106,718円	- D 106,718円	= 0円	【備考】

※支出額の ( ) 内は、支出のうち助成金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



食材はNPO法人で開催している農業体験で収穫したものを利用している他、地域の方、また農家の方々にご寄付を頂いています。

左：肉じゃが

右：大根とひき肉の煮物、小松菜のお浸し、大根のツナマヨ和え、大根葉とお揚げの煮びたし、カシラのカレー煮、漬物とお味噌汁、わかめとお塩のおにぎり



相席なので老若男女がわいわいとテーブルを囲みます。他人だけど、なんとなくお話の輪に入って、自然と皆のお喋りに参加しているという雰囲気です。

いつもより早起きして一番乗りを目指してくる子たちはメニューが気になって仕方ない様子（右）指定席で時間いっぱいまで食事をしていきます。（左）



受付番号	
受付月日	

## 公益信託ひらつか市民活動ファンド 平成30年度事業報告書

<b>1 団体名</b>	First Step	
<b>2 活動・事業名</b>	ランタン祭り実行推進のための事前視察と勉強会	
<b>3 コース区分 ・助成額</b>	(以下のどちらかのコースを○で押してください) 入門コース ・ 発展コース	6万円
<b>4 実施期間</b>	(開始期日) 平成30年 月 日 ~	(終了期日) 平成31年 3月31日
<b>5 活動・事業 の目的</b>	<p>団体の目的： 子どもたちの可能性を無限大に伸ばす環境を整える大人たちが、学び、気づくことを体験し、学び合うコミュニティを築くこと</p> <p>本事業の目的： 子どもたちが、創造力を発揮して、明るい未来を創り、幸せを感じてもらうため、オトナたちが体験型で、価値観を刷新する機会を提供すること</p> <p>社会的背景： 激動の時代、いまある職業が10年後にあるとは限らない事実をふまえ、社会を生き抜くチカラを子どもたちに持ってもらうことが必要である。それを下支えするのは、子どもを育てるオトナたち。オトナが、子どもたちと一緒に、富士吉田ランタン祭りボランティアを通じて創造力を培う環境づくりの大切さを実感する機会とする。</p> <p>見込める効果：「出来ない」から「出来る」への意識の変革。実体験により、新たに可能性を広げる意識を持つことで、未来をつくる子供たちへの働きかけのヒントが得られる。子育て支援の一助となる。</p>	
<b>6 実施した 内容</b>	<p>昨年度の大磯市出店プロジェクト活動を通じ、更なる発展を目指し、反省会や勉強会を重ねて参りました。メンバーの学校環境の変化の影響を受け、課題となったのは、「メンバーの募集」となりました。同時進行で計画されていた情報発信を重点的にした活動の中で、プロジェクト実施に向け、メンバーを募集するための活動をしてきました。</p> <p>富士吉田でのランタン祭りも今年度は夏に実施と予定されておりましたが、8月から12月へと実施時期の変更などが重なり、受け入れ先とこちら側の関わり方の調整のタイミングが合わず、詳細についての決定が直前となってしまったため、情報の告知をする時間が短く、短期間での募集となりツアー実施までには至りませんでした。</p> <p>活動を周知するためにと同時進行として計画されていた情報発信についての取り組みの中でYouTubeへの情報動画の作り方、タウン紙記者による記事の書き方などを学ぶことができました。</p> <p>活動実績としては、以下の内容となります。</p> <p>&lt;情報発信プロジェクト&gt;</p> <p>活動報告・運営会議・情報発信セミナー・編集会議 取材活動 延べ参加数 56名</p>	

申請書と同じ内容を  
記入してください。

活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。

※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。

<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>一つの目的を同じくすることにより、子どもたちの話し合いの内容としては活発となってきました。それは、昨年末の企画を出した時には勢いありきであったものから、少しの経験を経て見極められるものや、優先順位のつけ方を覚えていきました。</p> <p>自分たちに今あるもの、今いるメンバーでできることへとシフトしていく状況を見守っていくこととなりました。</p> <p>9月に自分たちの活動を紹介する動画を作り、大磯市という場でブースを作り、公開を試み、興味を持ってもらうことだけでなく、人と関わり話を聞くことの面白さに気づきました。</p> <p>YouTubeに向けた動画の制作法を学び、タウンニュースの記者から取材レクチャーを受け情報を発信する側となることから学べたことも多くあったようです。</p> <p>平塚市のどこかにランタンを掲げるイベントを創り出すことは、叶わないプロジェクトとなりましたが、子どもたちとの関わりの中で改めて感じたことは、自分ごとと捉えることのできるものには、興味を持ち、深掘りする探究心が眠っていること。そして、思っていた以上に社会的な立場として子どもの立場の弱さに対する意見などが出てきたことはとても興味深いものとなりました。また、地域のオトナ達と話を出来る場を設けたことで、子ども達のモチベーションも上がり、月に一度の更新日を目指したホームページの運営も、中学生メンバーを中心に、LINEでやり取りをしながら、進めていけるようになっていきます。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>本事業として検討していた受け入れ先との条件の調整がうまくいかなかったことも要因の一つになりました。</p> <p>反省点としては、こちら側から期待することをもっと事前に相談する機会を作っておく必要性があったこと。</p> <p>ただし、受け入れ態勢が整っていたとしても、子どもたちにとってその事業とするものが本当に期待するに値している事業であったのかをしっかりと見据えた事業企画をすべきであったことは、一番反省すべき点であったと思います。</p> <p>地元こんなお祭りを子どもたちと一緒にやれたらいいという想いだけではなく、子どもたちと一緒にお祭りをサポートする体験ならば、平塚の中にも素晴らしいものは多くあります。子ども達と一緒に活動していく中で改めて地域の良さも感じ取ることができました。もし可能であれば、どこかのお祭りの中に、いつか子どもたちの声を通じて、コラボすることは可能であるかなという期待は、今も持ちつつ、子どもたちがどんな世界を望み、楽しいと感じているのかによりそい、自分らしく過ごせるために活動をサポートすることに徹していきたいと思えます。</p>
<p>9 今後の 活動計画・ 事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うのであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>今後の活動方針として、子ども達が様々な連携体制を整え、プロジェクト事業として成立することができると思えるタイミングにて、子ども達が主体性となり、企画運営するイベントとしてのランタン祭りは、いつか実現させることができるよう、サポートしていきたいと思えます。今年度の取り組みとしては、実施には至らなかったものの、目指していくものを実現させること、仲間を集めていくことの難しさということを共に体験することができたのは大きな財産になったことと思えます。</p> <p>今年度は情報発信を軸とし、取材を通じたプロジェクトチームの結成をしています。それぞれのメンバーの興味を探究できる環境づくりのサポートをしていきます。また地域の大人と関わる機会を創出していく予定です。</p> <p>現在、連携体制にある平塚100人カイギとの連動だけでなく、地域で活動する人や会社などとの連携も計り、子どもたちの社会性と自主性を育てるためのサポート活動を続け、SDGsを通じ地域課題への取り組みも検討していきたいと考えております。</p>

10 活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、助成対象事業に限定した収支を記載してください。

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
助成金	60,000 円	0 円	0	ひらつか市民活動ファンド助成金
事業収益 (勉強会参加費)	27,500 円	0 円	-27,500	参加費を徴収する勉強会は実施せず
事業収益 (セミナー受講料)	40,000 円	0 円	-40,000	参加費を徴収するセミナーは実施せず
団体会員の会費	5,000 円	0 円	-5,000	
収入合計	A 132,500	B 0	B-A -132,500	発展コースの場合：事業費決算額 円 × % = 円 助成金の申請限度額 円
項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
勉強会講師謝礼	30,000 円 ( 5,000 円 )	0 円 ( )	-30,000	講師都合がつかず、実施見送り
勉強会講師交通費	10,000 円 ( 5,000 円 )	0 円 ( )	-10,000	講師都合がつかず、実施見送り
ボランティアスタッフ体験 交通費	40,000 円 (15,000 円)	0 円 ( )	-40,000	人が集まらなかったため、ツアー中止
ボランティアスタッフ体験 保険料	22,500 円 (15,000 円)	0 円 ( )	-22,500	人が集まらなかったため、ツアー中止
消耗品費	20,000 円 (20,000 円)	0 円 ( )	-20,000	
食糧費	10,000	0 円 ( )	-10,000	
支出合計	C 132,500 ( 60,000 )	D 0 ( 0 )	D-C 0	
③収支決算額	B - C	D - C	0 円 = 0 円	【備考】

※支出額の ( ) 内は、支出のうち助成金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



① 7/29 キミはマジメな YouTuber になる気はあるか？

テレビ各局で現役カメラマンとして活動中の☆サトシ☆さんを招き、撮影についての基礎知識を学びました。

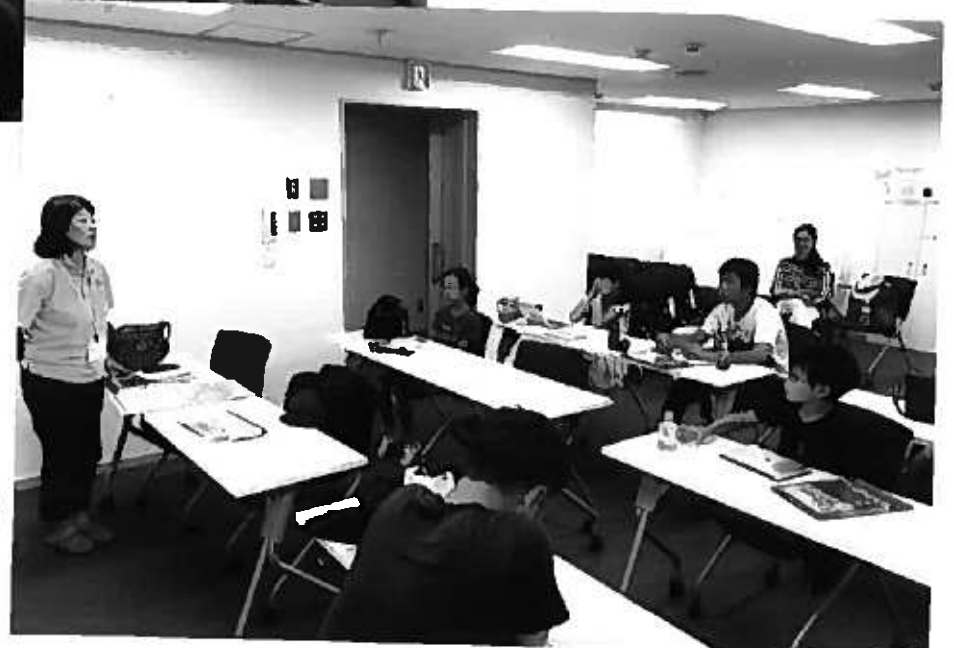
② 8/25 キミはマジメな YouTuber になる気はあるか？

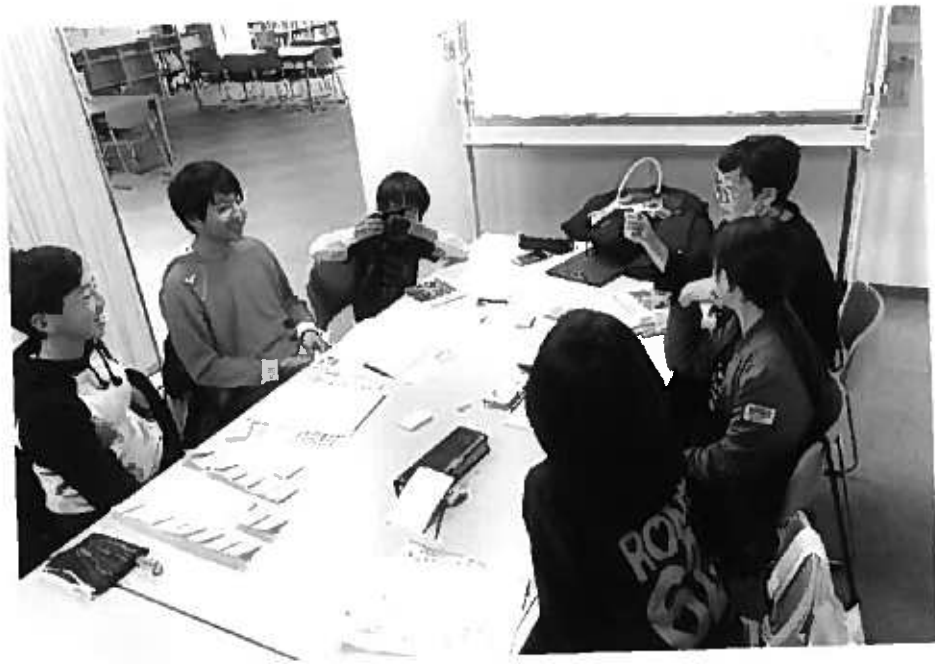
2回目は実践編ということで、大磯町にある旧古田茂邸で開催し、撮影許可を取り、実践した場にて編集の流れについて、レクチャーを受けました。

また、ガイド協会にもご協力いただき、古田邸の歴史も学ぶ時間も設け、個性豊かな子ども達の動画ができました。

③ 12/16 タウンニュースの長谷川記者を招き、取材のレクチャーを受け、この後防災パワーズさんの取材を行い、「とことん Media」で記事を公開しています。

④ 1/27 ひらつか 100 人カイギ Vol.2 にて、登壇者の記事に向けた取材中の様子です。





3



4

受付番号	
受付月日	

公益信託ひらつか市民活動ファンド 平成30年度事業報告書

1 団体名	平塚ゆかりの作家 中勘助を知る会	
2 活動・事業名	「平塚ゆかりの作家」中勘助文学碑建設事業	
3 コース区分 ・助成額	(以下のどちらかのコースをひて開んでください。) 入門コース ・ <b>発展コース</b>	20万7千円
4 実施期間	(開始期日) 平成30年4月1日	(終了期日) 平成30年7月31日
5 活動・事業 の目的  申請書と同じ内容を 記入してください。	<p>・目的 より多くの市内外と後世の人々に平塚における中勘助の文学的功績を知ってもらうため中勘助文学記念碑を建設する。</p> <p>・なぜこの事業を実施したのか？どんな課題を改善したいのか？ 中勘助を知ってもらうため、講演会、文学講座、文学散歩、詩集の発行、ゆかり地の視察等を実施してきて一定の効果はあったものの、市民に広く広がるまでに至っていない。目に見えるものが常にある文学碑があれば一層市内外と次世代の人々にも知ってもらえると考えた。</p> <p>・社会や市民のためにどのような公益性があるのか？ 本市は文学的遺産が少ないなかで、中勘助は7年9ヶ月余平塚に住み、平塚時代のことを500ページに渡る『しづかな流』を著述し、そのなかに多くの平塚海岸の素晴らしい詩を遺してくれた。これを活かし、平塚海岸地区を文化薫るまちにすることができ、観光的にも注目される平塚の特色あるまちづくりの一つになり、今回の文学碑がその拠点となりうる。</p>	
6 実施した 内容  活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。  ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>目的を達成するため、次のことを実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成28年度 記念碑建設に向けて「事業積立金」を設けた。</li> <li>2. 記念碑建設関係会議       <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度総会(5月) 記念碑建設調査承認。</li> <li>臨時総会(11月) 記念碑建設計画案承認。</li> <li>・役員会 計画案作成、地元説明、役員会等12回開催し検討した。</li> </ul> </li> <li>3. 募金活動 事業積立金の寄付だけでなく、広く一般の方々から寄付を仰ぐため、まず83名4団体の方々に賛同者になっていただき、賛同者が中心となり募金活動を行い、合計364名の寄付があった。</li> <li>4. 文学碑計画書類を作成し、設置場所の許可を受け施工を行った。       <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置場所 「平塚市近隣公園 桃浜公園」</li> <li>・碑文 『しづかな流』の冒頭の言葉「しづかに時の過ぎてゆくのを…」</li> <li>・石の種類 中勘助平塚海岸地区の豊かな自然をこよなく愛したことから自然石がふさわしく真鶴町の小松石に直彫りを行った。</li> <li>・施工工事 平成30年4月4日～5月15日</li> <li>・竣工式 5月22日(中勘助誕生日) 桃浜公園 出席者120名</li> </ul> </li> <li>5. 記念事業       <ul style="list-style-type: none"> <li>①中勘助文学記念誌500部作成 ②中勘助文学記念ポストカード2千枚作成 ③ゆかりの商品開発「ひらつか松露まんじゅう」</li> </ul> </li> </ol>	



<p><b>7 得られた成果・効果</b></p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受給者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文学碑建設過程においても、新たに市民に関心をもってもらえ、人の輪が広がることが期待できる。</li> <li>2. 今まで、中勘助が平塚に住んでいたといっても、目に見えるものがなかったもので、一般に漠然としたものであったが、文学碑ができることにより、明確化できた。</li> <li>3. 市内外の人に平塚の中勘助を末永く知ってもらえる拠点ができた。</li> <li>4. 今後、文学碑を拠点として、中勘助が遺した多く詩文を活かすことが出来る。例えば文学碑をスタート地点とし、中勘助が詩を詠んだところに、詩の銘板を設ける「中さんの散歩道」を市と協働で整備を行いたい。全国に単独の詩碑はあるが、ストーリー性を持ったものはない。できれば全国初めてのものになる。観光ルートにもなりうる。</li> <li>5. 文化的遺産が少ないなかで、文化薫るまちづくりの一助になる。</li> <li>6. 中勘助は自然をこよなく愛した。自然を大切に作る心が地域に根付く。</li> </ol>
<p><b>8 反省点・課題</b></p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関心を持ち寄付をいただいた大多数の方は中高年層であり、次世代に伝えて行くには、青壮年層と子供達であり、その対策と実行が大きな課題となっている。</li> <li>2. 中勘助の『しづかな流』は平塚の文化的遺産であり、更にどのように市民の浸透していくことが課題である。</li> <li>3. 会員も大多数が高齢者であり、今回のような事業は今後困難であり、若い人達の加入が必要となっている。</li> </ol>
<p><b>9 今後の活動計画・事業展望等</b></p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地道な活動により知ってもらう活動       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 講演会年2回、『しづかな流』読書会年4回</li> <li>(2) 文学散歩「中さんの散歩道」年2回 観光協会をタイアップして、観光コース化を研究する。</li> <li>(3) 中勘助ゆかりの地 視察交流会 年1回</li> <li>(4) ホームページによるPR、会員募集</li> </ol> </li> <li>2. 次世代に繋げる事業       <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 小学校児童対象に図書室司書とタイアップし紙芝居の上演等</li> <li>(2) 地元中学校等講演会開催とクラブ活動としての依頼</li> </ol> </li> </ol>

10 活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、助成対象事業に限定した収支を記載してください。

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
① 収入				
助成金	320,000	207,000	△113,000	ひらつか市民活動ファンド助成金 余剰金 113,000 返却
繰入金	716,000	886,379	170,379	平成30年度中勘助知る会積立金より繰入
寄付金	1,480,000	1,690,000	210,000	寄付金 210,000 の増
収入合計	<b>A 2,516,000</b>	<b>B 2,783,379</b>	<b>B-A 267,379</b>	事業費決算額 2,783,379 × 90% = 2,505,041 円助成金の申請限度額 500,000 円
② 支出				
項 目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
工事費	1,800,000 (329,000)	1,897,000 (207,000)	97,000	当初碑の周囲枠に小石を置く予定、市より供達が石を投げ合う恐れへの指摘があり、「特殊技術洗い出し」を行ったため、97,000 増額となった。
講師謝礼	30,000 (0)	0 (0)	△30,000	竣工式 朗読謝礼 10,000 写真撮影謝礼 5,000 を式典費として支出した。
消耗品	35,000 (0)	14,661 (0)	△20,339	封筒長形 3号 432 枚計 6,372 長形 2号 170 枚計 1,296 長形 24 枚 280、目隠しシール 150 枚計 5,184、フラッシュメモリー 1,313 他 216
食料費	20,000 (0)	0 (0)	△20,000	式典にペットボトル 96 本 7,853 購入したが、式典費として支出した。
印刷費	119,000 (0)	54,674 (0)	△64,326	チラシ 2,700 枚 19,105 総会、役員会資料印刷 1,420 枚計 9,321、賛同者・寄付者依頼資料印刷 2,451 枚計 22,436、PC インキ 2 本 3,812
通信運搬費	80,000 (0)	38,610 (0)	△41,390	62 円ハガキ 170 通 10,540、10 円切手 72 枚 720、82 円切手 154 枚 12,628 92 円切手 36 枚 3,312、205 円定形外 6,970、他レターパック等 4,440
広報宣伝費	432,000 (0)	574,273 (0)	142,273	・新聞報道及び寄付者掲載料 400,000、・文学碑建設記念事業①記念誌 500 冊 72,724、②記念絵ハガキ 2,000 枚 7,346、③HP 開設費 78,838 他 15,360
式典費	0 (0)	202,433 (0)	202,433	謝礼 15,000 記念菓子 49,920 (8 個入 27 箱 25,920 2 個入 100 箱 24,000 ペットボトル 96 本 7,853、印刷費 65,552、他 64,108
諸経費	0 (0)	1,728 (0)	1,728	・送金手数料 3 件 (2 件 864、1 件 864)
支出合計	<b>C 2,516,000</b>	<b>D 2,783,379</b>	<b>D-C 267,379</b>	
③ 収支決算額	<b>B 2,783,379 円</b>	<b>- D 2,783,379 円</b>	<b>= 0 円</b>	【備考】

※支出額の ( ) 内は、支出のうち助成金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



中勘助文学碑 2018.5.22 [平塚市桃浜公園]



中勘助文学碑竣工式  
除幕



竣工式出席者



受付番号

受付月日

## 公益信託ひらつか市民活動ファンド 平成30年度事業報告書

1 団体名	NPO 法人 暮らし・つながる森里川海	
2 活動・事業名	木育と環境学習活動の展開	
3 コース区分 ・助成額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ <b>発展コース</b>	14万円
4 実施期間	(開始期日) 平成30年4月1日	(完了期日) 平成31年3月31日
5 活動・事業 の目的  申請書と同じ内容を 記入してください。	<p>■当法人の目的</p> <p>(1) 生き物と共存したまちづくり運動の展開</p> <p>(2) 子どもたちを野に戻す(子どもの時は子どもする)</p> <p>■社会的背景</p> <p>テレビゲームの普及や身の回りの自然環境の消失により、子どもたちの自然離れが進んでいる。このまま行くと、十分に自然体験をしないまま大人になってしまう子どもたちが大半を占めてしまうのではと危惧している。問題を解決するためには地域一体となった対応策の実行、木育と五感を育てる環境学習活動の展開が必要になっている。※幼稚園の教育要領改定2018年度より(自然体験強化がうたわれている)</p> <p>■木育活動</p> <p>東京おもちゃ美術館(認定NPO法人芸術遊び創造協会)と連携して、林野庁が進める木育活動を展開する。木を真ん中に置いた子育て、子育て環境を整備し、子どもをはじめとするすべての人たちが、木のぬくもりを感じながら、楽しく豊かに五感を育てる暮らしを送ることができるような取り組みを図っていく。幼児、子どもだけでなく、親世代への理解と参加を求め、失われつつある五感の回復を広い世代に伝えて行く。その一環として、木のおもちゃと触れ合う場づくり「ひらつかおもちゃ広場」を展開して行くと共に、連動した取り組みとして馬入水辺の楽校や土屋里山体験フィールドを環境学習活動の拠点として育てていく。</p>	
6 実施した 内容  活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。  ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>(1) 申請時の内容と異なる点</p> <p>申請時の段階では、東京おもちゃ美術館のインストラクターA氏の合意を得て「おもちゃ広場ひらつか」の定期開催を実施する計画であったが、先方の都合により、不成立となり、大幅な計画の見直しとなった。</p> <p>(2) 実施事項</p> <p>①認定NPO法人芸術遊び協会及びおもちゃインストラクターとの協議</p> <p>②おもちゃ広場の見学(横浜、厚木)、小田原木工団地との情報交換</p> <p>③湘南生活クラブ生協及び組合員との連携協議・袖ヶ浜子供会との連携協議</p> <p>④平塚市松風幼稚園との連携合意。「どんぐりさんの木育広場」代表「片山恵美子」さんの支援獲得。⑤おもちゃインストラクターの資格取得:4人(主催:認定NPO法人芸術遊び協会主催:開催日:9月1~2日)</p> <p>⑥歌とことばのお話会「おばんばやし」と「あかちゃんおもちゃ広場」の開催9月15日・於:松風幼稚園・参加者:大人10、子供8、講師3、スタッフ4、合計25人⑦おもちゃ広場 in 暮らしの家おきなやの開催:11月18日、大人15、子供15、スタッフ8=合計38人。3月2日:大人2、子供1、スタッフ4=合計7人、⑧皮むき間伐体験:7月21日、於:山梨県、子供16、大人22、スタッフ13=合計51人。⑨夜の森自然観察会:於:津久井城山公園・子供6、大人5、スタッフ3、講師1=合計15人 2月3日</p> <p>⑩スタッフ研修(手作りおもちゃ作り:2回、延べ参加人数6人)</p>	

<p><b>7 得られた成果・効果</b></p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>(1) おもちゃ広場 当初計画と異なる開催となったが、参加者には大変好評であった。活動の賛同、協力を得た松風幼稚園からは次回開催の要望があった。</p> <p>(2) 皮むき間伐体験 山梨県の子供達との相互交流事業として開催。山梨県の森で、森と海はつながっていること、森林保全の重要性を学ぶ。杉やヒノキの皮を剥いで枯れさせる間伐方法は子供達でも参加でき、価値ある取り組み。木々の香り、木の肌のぬくもり、皮を剥いだ木のひんやりとした感触等、五感を育む体験となった。清流でのお魚調べとも、大好評であった。好評を受け 2019 年度を実施することになった。</p> <p>(3) 夜の森の自然観察会 県立津久井城山公園で開催。森と生き物の関係、森林保全の重要性などを学ぶ。木々の香りが漂う夜の森は神秘的で、ムササビ観察や星座観察など、非日常体験の連続。子供達にとって大好評であった。</p>
<p><b>8 反省点・課題</b></p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>(1) おもちゃ広場 ①未就学児童と小学生は成長が異なるため、同時参加は難しく、別途の開催が必要。 ②参加費徴収の難しさ：300 円が限界か？ ③人を集める工夫 木のおもちゃとのふれあいを普及させるためには、人が集まりやすいアトラクションとのセット開催が必要 ④スタッフの育成 他人の力を頼りにせず、自賄い運営を目指す。 人材育成として、スタッフのやりがい、スキルアップを醸成する研修会、懇親会の開催が必要。 ⑤他団体との連携 木育活動を普及させるためには地域を巻き込んだ他団体等との連携が必須。 現在、湘南生活クラブ生協組合員主催「たまごのひろば」との連携協議中。子供会との協議を進める。</p> <p>(2) 取り組み全体の課題 ①運営委員の確保（若返り） ②スタッフの育成 ③資金確保（自賄い経営） ④広報活動の徹底</p>
<p><b>9 今後の活動計画・事業展望等</b></p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うのであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>(1) 木育活動 ①おもちゃ広場の定例開催 人の関心と呼ぶよう、おもちゃ作り教室やけん玉教室、簡単ウクレレ教室など、アトラクションとのセット開催を図る。 ②森とのふれあい 山梨県の子供達との相互交流活動「皮むき間伐体験」の継続 里山での生き物とのふれあい活動の実施 ③スタッフの育成・確保 参加者との交流を図る中、担い手の発掘・育成を図る。</p> <p>(2) 当法人全体の活動 ①プロジェクト「子どもが元気、生き物元気、ひらつか元気」の推進 ②後継者育成を図るためのワークショップの開催 「夢の楽校づくり」（馬入水辺の楽校の野外博物館化＝公的施設として運営） 「ひらつか SDGs 中学生が考える環境に優しい生活」＝神明中学校と連携 「ひらつか SDGs 子ども水族館の開催」の開催 ＝平塚市生物多様性アクションプランとの連携</p>

10 活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、助成対象事業に限定した収支を記載してください。

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
① 収入				
助成金	140,000	140,000	0	ひらつか市民活動ファンド助成金
参加費	320,000	27,800	▲292,200	おぼんばやし、あかちやんおもちや広場 16人×300円 夜の生き物観察 10人×1,000円、皮剥き問伐 13人×1,000円
自己資金	0	179,713	179,713	
収入合計	A 460,000	B 347,513	B-A ▲112,487	発展コースの場合：事業費決算額 347,513円×90%=312,761円 助成金の申請限度額 500,000円
② 支出				
講師諸費	160,000	20,000	▲140,000	申請段階ではおもちや美術館インスタントラクターの支援合意を得た中で、月一回の開催を計画しましたが、先方の都合により不成立になり、4回の開催となりました。謝金：おぼんばやし1回×10,000円、赤ちやんおもちや広場1回×10,000円
おもちゃ購入費用	140,000 (14,000)	101,394 (100,000)	▲38,606	木のおもちや購入
会場費	160,000	0	▲160,000	参加費で会場費をまかなう計画でしたが、上記の理由で計画倒れになり、会場費として支出計上しました。
研修費	0	40,000 (40,000)	40,000	自衛隊を訪問するとインスタントラクターを4人養成しました。 2019年度の活動展開に、結びつきました。
交通費	0	173,030	173,030	木育活動は森林の保全、自然体験を図ることも目的となっています。 山梨県の（皮むき問伐体験）104,360円（バス代） 津久井城山公園（夜の森の生き物観察）68,670円（バス代）
印刷費	0	12,441	12,441	おもちや広場チラシ制作費 3回 1000部 3391円、2000部 4,428円、2000部 4,622円
振込返金手数料	0	648	648	おもちや広場チラシ印刷費 216円、216円、216円
支出合計	C 460,000 (140,000)	D 347,513 (140,000)	D-C ▲112,487 (0)	
③ 収支決算額	B 347,513円 - D 347,513円 = 0円			【備考】

※支出額の ( ) 内は、支出のうち助成金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し（コピー）を添付してください。

平成30年度事業報告書 (写真)



9月15日  
あかちゃんおもちゃ広場 (左)

9月15日  
おばんばやし (下)



11月18日 おもちゃ広場  
(写真 左下2枚)

木のおもちゃとのふれあい  
牛乳パックのおもちゃづくり

3月2日 おもちゃ広場  
写真右下2枚

おもちゃ広場とつるし雛づくり



7月21日 皮剥き間伐体験

森と海はつながる

森の保全の重要性を学ぶ（写真左）



7月21日 杉やヒノキの匂いにつつま

れた森で皮剥き間伐体験（写真右）

木の肌が冷たい、楽しい！



2月3日 夜の森自然観察会

森のこと、生き物のことを学ぶ

（写真左）



2月3日 夜の森自然観察会

ムササビの食べた葉で遊ぶ（写真右）





受付番号	
受付月日	

**公益信託ひらつか市民活動ファンド 平成30年度事業報告書**

1 団体名	子ども学習支援グループ 須賀の寺子屋	
2 活動・事業名	子どものための学習支援教室	
3 コース区分 ・助成額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ <b>発展コース</b>	14万円
4 実施期間	(開始期日) 平成 30年4月1日	(完了期日) 平成 31年3月31日
5 活動・事業 の目的  申請書と同じ内容を 記入してください。	<p>近年、貧困や学力低下等の問題を抱える子どもの割合が増す中、本市に於いても、本人や家族の事情により家庭学習が十分に行いづらく、学習塾に通うことが困難な小中学生の割合が高まっている。そこで、社会を明るくする運動に関わるメンバーや元教員等、地域の有識者がボランティアで、自主学習に何らかの問題を抱えている小中学生を対象に無料で学習支援を行い、学習の喜びと習慣を身につけ、学習意欲と学力向上を目指し、将来、犯罪や非行に陥ることのない青少年の健全な育成を目的とした活動を展開している。</p>	
6 実施した 内容  活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。  ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>複数回開催事業の出席者は延べ数。会場はいずれも太洋中学校体育館</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>小学生対象学習支援 毎月第2・4木曜日 pm4:30~5:30 小学生 165名、支援員 208名出席 宿題を中心とした学習と個別の課題、美術鑑賞等を行った。</li> <li>中学生対象学習支援 毎月第2・4木曜日 pm7:00~8:30 中学生 438名、支援員 539名出席 生徒の希望する教科指導や受験対策等を行った。</li> <li>小学生対象夏休み宿題教室 7~8月に4回開催 小学生 52名、支援員 46名出席 理科実験ではゴミの分別表制作を行った。</li> <li>中学生対象夏休み特別講座 8月16日 pm7:00~8:30 中学生 5名、支援員 9名出席。 平塚海岸から採取した砂をふるい、マイクロプラスチックの観察等を行った。</li> <li>広報活動 <ol style="list-style-type: none"> <li>①本団体のリーフレットを1000部作成、配布</li> <li>②ホームページ作成</li> </ol> </li> </ol>	



<p><b>7 得られた成果・効果</b></p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>小学生対象学習支援</b> 全員個別で対応できるようになった事で、個々の発達や個性に合わせた学習が提供できた。市民活動団体しえんのまなび舎との協力で、支援の必要な子どもたちへの細かなサポートができた。宿題を中心に学習したが、美術館ボランティアグループの協力で楽しい名画鑑賞の学習を取り入れ、様々な学習機会の提供ができた。</li> <li><b>中学生対象学習支援</b> 全員個別で対応できるようになった事で、個々の学習レベルに相応した学習が提供できた。アンケート結果…開催日時や回数、学習内容の何れの項目でも90%以上が「非常に良かった」「良かった」の評価を得た。</li> <li><b>小学生対象夏休み宿題教室</b> 地域の子供会回覧板による広報で、定員を超える参加者だった。大学院生の理科実験により、ゴミの分別という身近な課題から自然保護の意識を楽しく学習できた。個別のサポートで、自力では解らない部分の学習をサポートできた。</li> <li><b>中学生対象夏休み特別講座</b> 大学院生による理科講座で、今注目のマイクロプラスチックゴミの取り出し実験を行い地球環境問題を身近なことから考える楽しい学習ができた。</li> <li><b>広報活動</b> ①団体紹介のカラーリーフレットを1000部作成し、関係機関等へ配布配架してもらえたことで、必要な活動の広報ができた。②ホームページを作り、より多くの皆様へ活動を知ってもらえるようになった。</li> </ol>
<p><b>8 反省点・課題</b></p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li><b>小学生対象学習支援</b> 反省点…学習支援員との馴れ合いで、学習姿勢やマナー、言葉遣いがぞんざいになっていた。 課題…よりよい学習支援に必要なスキルを研修する。</li> <li><b>中学生対象学習支援</b> 反省点…学習支援員の基本的な対応の均一化ができなかったために、生徒へのサポートにばらつきが生じていた。 課題…学習支援に必要な基本スキルを研修する。</li> <li><b>小学生対象夏休み宿題教室</b> 反省点…ボランティアや支援員不足で参加の小学生全てに個別対応ができなかった。 課題…ボランティアや支援員の募集の仕方を見直す。</li> <li><b>中学生対象夏休み特別講座</b> 反省点…環境系の理科学習に対する中学生の興味の薄さを感じた。 課題…環境問題に対する興味関心を高められる工夫が必要。</li> <li><b>広報活動</b> 反省点…本当に支援を必要としている子どもたちに届いていたのか。 課題…学校の協力等で直接子どもたちに情報が届くような工夫が必要。</li> </ol>
<p><b>9 今後の活動計画・事業展望等</b></p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動・計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>小学生対象学習支援および中学生対象学習支援は、参加希望者の増加により必要性を強く感じるとともに、本当に支援を必要としている子どもたちへのより良いサポートができるように、専門知識のある外部講師による支援研修を行いたい。</p> <p>小学生対象夏休み宿題教室については、参加者の高評価とその必要性により、今後も毎年活動を継続展開したい。中学生対象夏休み講座は、参加者は少ないが満足度が高い事業のため、広報の仕方や内容を再検討し、活動を継続できるようにしたい。参加者や支援員募集には、興味関心を得られるよう工夫広報をしたい。</p> <p>今年度の活動を通して、近隣の県立高浜高校および私立平塚学園高校とボランティアの協力連携ができた。また、平塚市内で小中学生に学習活動を行っている市民活動団体と「ひらつか子ども学習支援ネットワーク」の団体設立をした。これにより、各団体の持つ力を併せた質の高い学習支援に取り組めることと、支援を必要としている子どもたちの学習の機会を増やすことができるようになった。</p>

10 活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、助成対象事業に限定した収支を記載してください。

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
助成金	140,000	140,000		ひらつか市民活動ファンド助成金
団体会計より	16,260	17,565		事業費の不足分を団体会計より補填
① 収入	A 156,260	B 157,565	B-A 1,305	発展コースの場合：事業費決算額 157,565 円 × 90 % = 141,808 円 助成金の申請戻金額 140,000 円
項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
教材費	74,000 (70,000)	75,445 (70,000)	+1,445	教科書及びワーク代 74,041 円、タイマー 8 個・時計 5 個 1404 円 タイマーは小学生の集中力を上げるために購入。
保険料	10,800 ( 5,800)	8,430 (5,800)	-2,370	対象事業全般通用の保険 5,430 円
消耗品費	19,000 ( 19,000)	26,855 (24,120)	+7,855	カルタ 7 冊 1,197 円、アクリンペン 1,571 円、A4 紙 1,650 円、テープ 600 円 他 2831 円 収納箱 2 台 2,351 円、文具他 9,245 円、PC 7,940 円
印刷費	6,220 (6,000)	6,955 (6,000)	+735	リーフレット 1000 枚 3,545 円、印刷代 3,410 円
講師謝金費 (交通費含む)	30,000 (30,000)	26,500 (26,500)	-3,500	理科教室 3 名 19500 円、美術教室 2 回 4,000 円、BBS 会 10,000 円 しえんの学び舎 2,000 円
旅費・交通費	6,240 (5,000)	3,380 (3,380)	-2,860	理科教室打ち合わせバス 2,700 円、 リーフレット郵送料 680 円
デザイン費	10,000 (4,200)	10,000 (4,200)	0	寺子屋リーフレットデザイン料 2 種 10,000 円
支出合計	C 156,260 (140,000)	D 157,565 (140,000)	D-C 1,305	
③ 収支決算額	B 157,565 円 - D 157,565 円 =	0 円		【備考】

※支出額の ( ) 内は、支出のうち助成金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



平成30年度 学習支援グループ 復讐の寺子屋



2018/09/27

▲ 小学生対象 学習支援 美術授業



2019/01/24

▲ 中学生対象 学習支援



2018/08/23

▲ 小学生対象 夏休みの宿題为ら



2018/08/16

▲ 中学生対象 夏休みの理科为ら



<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>活動・事業を実施した ことで良かった点、得 られた成果、確認され た効果などについて 記入してください。</p> <p>また、アンケート等で 参加者や受益者（サー ビスを受けた方）の評 価がわかる場合は、記 入してください。</p>	<p>7月14日のヨット教室に参加した親子から、楽しかった、機会があればまた参加したいのと声をいただいた。毎週土曜日（特に毎月第二土曜日）は、練習だけでなく希望者がいれば体験乗船やもやっていますよとお話したところ、ぜひ、また来たいとのこと。</p> <p>ヨットだけでなく、ひらつかビーチでさまざまなスポーツ体験をしていただき、自分たちの活動がだんだんと地域に知られてきていると実感できました。</p> <p>今年のはぼり旗を作成し、活動中にビーチに立てたり、ヨットに掲げたことが、当日参加者をふやし、また、気軽に声をかけていただけるツールになった気がします。新しいヨット部会員が4名増えました。</p> <p>中古ヨット1艇の寄贈をました。</p> <p>倉庫の雨漏りも修理できましたし、団体としてのインフラがだんだんと整ってまいりました。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した 結果、反省点や課題と してあげられる事項 について記入してく ださい。</p> <p>また、反省点や課題の 改善方法を検討したり、 解決を図った場合は、 その内容を記入し てください。</p>	<p>参加者から、気軽に楽しめてよかったが、こんなところでヨットに乗れるとは知らなかったとか、どうすれば会員になれるのかといわれました。毎年いわれ続けていることであり、まだまだ広報活動がたりないと実感した。あまりに居心地がよく、ついつい旧知の仲間内だけで、ひらつかの海で遊んでいることを少し反省し、今以上にビーチにいる子供たちやその親御さんに気軽に参加していただけるように気をくばりたいと思います。</p>
<p>9 今後の 活動計画・ 事業展望等</p> <p>活動・事業について今 後も継続的に行うも のであれば、その計画 や、団体としての今後 の活動計画・事業展望 等を記入してください。</p>	<p>ヨットの楽しさを簡単に知って頂くために、ドローンで海上のヨットの練習風景を記録し、フェイスブックにアップしはじめたところ、だんだん閲覧者もふえ、「いいね」の評価もチラホラでできました。おそらく地元のビーチの様子ですから見る方にも身近に感じていただけたと思います。操船技術上達のきっかけにもなるうえに、なにより練習の励みになるので、これを継続し、いずれ初心者へのレッスンにも活用していきたいです。ドローン教習そのものが、まだまだ目新しく、見て面白いので、広報活動にも効果を発揮するのではないかと期待しています。</p> <p>会員も特に仲間が徐々に増えてきており、これからもこれまでもおり地道に活動をつづけていきたい。そして、市民活動ファンドの審査会等で他の団体の方々ともお知り合いになれたので、積極的に交流していきたいと考えます。</p>



### 10 活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、助成対象事業に限定した収支を記載してください。

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
助成金	210,000	210,000	0	ひらつか市民活動フアンスド助成金
参加費	35,000	60,500	25,500	平成30年7月14日 初級ヨガ教室開催 大人2,000円×19名+小学生1,500円×15名
① 収入	50,000	0	-50,000	活動の賛同者から現金ではないものの、中古デザインキーを1艇寄贈された
事業収益	10,000	13,500	3,500	クルーザー教習を2回開催。 大人2,000円×5名+小学生1,500円×1名
団体会員の会費	25,000	26,000	1,000	団体会員の年会費の一部を事業に充当
カンパ	0	466	466	会員有志によるカンパ
収入合計	<b>A</b> 310,000	<b>B</b> 310,466	<b>B-A</b> 466	整装コースの場合：事業費決算額 310,466円×70% = 217,326円 助成金の申請年度額210,000円
項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
修繕費	100,000 (100,000)	107,127 (100,000)	7,127	シート14,526円、エポキシ・ポリエスチル樹脂8,729円、木材32,573円 各種バーン34,580円、修理中のバス代11,800円、セイル修理5,000円
物品購入 (消耗品費)	110,000 (110,000)	137,240 (110,000)	27,240	セイル4枚とスノーニング2枚で113,540円、船台1台21,600円
講師謝礼金	50,000 ( 0)	40,000 ( 0)	-10,000	講師2名：1人1万円 (税込み) ×2回
事務用品費	1,000 ( 0)	1,296 ( 0)	296	顔取書用のゴム印作成
保険料	9,000 ( 0)	0 ( 0)	-9,000	参加者各自でイベント保険加入、スタッフはボランティア保険を活用。
食糧費	30,000 ( 0)	9,000 ( 0)	-22,000	500円×16名、クルーザー教室は講師もスタッフも昼食代支給せず。
広告宣伝費	10,000 ( 0)	16,803 ( 0)	6,803	のぼり旗3枚作成 (ポール付き2枚+旗のみ1枚) 11,803円+デザイン料 5,000円
支出合計	<b>C</b> 310,000 (210,000)	<b>D</b> 310,466 (210,000)	<b>D-C</b> 466	
③ 収支決算額 <b>B</b> 310,466円 - <b>D</b> 310,466円 = <b>0円</b>				【備考】

※支出額の ( ) 内は、支出のうち助成金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

7月14日、海開きの日のヨット教室の風景。全く未経験者の親子で参加。



風も弱く、うねりも無し。3人も乗っているのになかなか進まない様子。



ジブセイル（2枚目の帆）のあるシーホースでの練習



少し大きめの木製ディンギーなので大勢のっても安定しています



5月実施のクルーザー教室の風景





受付番号

受付月日

## 公益信託ひらつか市民活動ファンド 平成30年度事業報告書

1 団体名	湘南ひらつか・ゆるぎ地区活性化に向けた協議会	
2 活動・事業名	吉沢八景活用事業	
3 コース区分 ・助成額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ <b>発展コース</b>	38 万円
4 実施期間	(開始期口) 平成30年 4月 1日	(完了期口) 平成31年 3月 31日
5 活動・事業 の目的  申請書と同じ内容を 記入してください。	<p>平塚市の西部丘陵地域に位置する吉沢地区は、南側に「ゆるぎ地区」と呼ばれる里山を抱き、市街地に近接しながらも日本の原風景とも言える美しい里地里山の景色が広がっています。</p> <p>当協議会はこの「美しい風景を後世に残し育みたい」という思いのもと、東京農業大学、東海大学、平塚市と連携して、「吉沢八景選定プロジェクト」を立ち上げました。小中学生を含む地元の方々の協力も得て、2年間にわたる協議の末、平成28年1月の発表に至りました。</p> <p>その後も継続して、協議会役員、大学生、市役所職員の有志とともに地域の活性化に資する吉沢八景の活用を図っており、一昨年に引き続き昨年4月に、ひらつか市民活動ファンドの助成を受け、吉沢八景関連の整備をさらに進めることができました。</p> <p>私たちは、吉沢八景が広く平塚市内外の人々に浸透し、吉沢地区の自然、文化の素晴らしさを知っていただくことが、地域の誇りとなり、掛け替えのない市民の宝物であると認識されることを願ってこの活動に取り組んでおります。</p>	
6 実施した 内容  活動・事業の実績(実 施内容・実施日・場 所・参加人数など) について具体的に記 入してください。  ※ 申請書の内容と 相違があった場合は その変更点と理由を 記入してください。	<p>1.吉沢八景散策者の利便性を確保するための活動・事業</p> <p>①総合案内板：飛谷津の丘に1基設置。(H30.8/24)</p> <p>②丸太ベンチ：総合案内板設置後、5基製作(厚木市森林組合に原木の樹皮剥と成形を発注)し、塗装を施して5カ所(下吉沢展望所 H31.2/1、ゆるぎの丘 2基 H31.3/9、飛谷津の丘 H31.3/13、霧降りの滝 H31.3/13)に設置。</p> <p>③サイン板は前年度から引き続き計38基を設置完了。</p> <p>④八景説明板の前年度からの残3基(吉沢小学校 H30.5/16、めぐみが丘 H30.5/16、飛谷津の丘 H30.5/16)を設置。</p> <p>2.吉沢八景をアピールするための活動</p> <p>①ガイドマップ：(H30.4からH31.3月末)約2,000部配布</p> <p>②ガイドブック：900部作成。</p> <p>③ワークショップを3回実施(H30.6/30、同10/20、H31.3/9)し、各100名程度が参加。吉沢八景に掛る修景作業や湿地整備(トンボの生育環境づくり)を盛り込んだ。</p> <p>④東京農大「トンボの里づくりフォーラム」(H31.2/16)で「吉沢八景におけるトンボの里づくり」をテーマに吉沢八景の来訪者へ向けた取り組みを発信。</p> <p>⑤吉沢公民館まつり(H31.3/2)で吉沢八景事業に関するパネルを展示。</p> <p>⑥市及び観光協会、他市内各所にガイドマップを配置・配布。</p> <p>3.吉沢八景来訪者の満足度を高めるための活動</p> <p>整備活動を実施。(下吉沢展望所 H31.2/1、ゆるぎの丘散策路 H31.2/13)</p>	

<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「ゆるぎの丘」の知名度が、平塚市だけでなく全県的に高くなった。リュックを背負った散策者が増加した。</li> <li>2. 定期的に保育園児が保育士さんに連れられて散策に訪れる様子を見る機会が多くなった。</li> <li>3. 市外の団体から散策予定の連絡を事務局が受けるようになった。（但し、トイレが散策路沿いにないことで、中止とされた例があった。）</li> <li>4. 下草刈り等の整備により、見通しが良くなり散策路が歩きやすくなった。</li> <li>5. 昨年度初めて当地外のNPO主催のトレイルランニング大会が当地を通過する形で開催された。今年度も同様に開催された。</li> </ol>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 丸太ベンチの防腐塗料の塗付及び乾燥に思った以上に時間がかかり、設置時期が年度末になった。</li> <li>2. 現在は紙ベースでのガイドブックによる広報活動としているが、その重要性を認識しながら、IT活用も検討していきたい。</li> </ol>
<p>9 今後の 活動計画・ 事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 吉沢八景散策者の利便性を確保するための活動・事業       <ol style="list-style-type: none"> <li>①昨年度以前に設置したものも含め、総合案内板・八景説明板・サイン板のメンテナンスを行う。</li> </ol> </li> <li>2. 吉沢八景をアピールするための活動       <ol style="list-style-type: none"> <li>①H31年度のワークショップ活動：6月・10月・3月に実施予定。各回100名程度の参加を見込む。</li> <li>②吉沢地区の活性化：本年度同様に吉沢公民館まつりでの吉沢八景に関する展示を予定。</li> <li>③市役所及び観光協会、他各所にガイドマップ及びガイドブックを配置・配布を予定。</li> <li>④「吉沢八景におけるトンボの里づくり」を念頭に湿地整備を計画。</li> </ol> </li> <li>3. 吉沢八景来訪者の満足度を高めるための活動       <ol style="list-style-type: none"> <li>①協議会役員を中心にボランティアで里山整備活動を随時実施予定。</li> <li>②ワークショップ等による里山整備活動の実施予定。</li> </ol> </li> </ol>

10 活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、助成対象事業に限定した収支を記載してください。

項 目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
助成金	380,000	380,000	0	ひらつか市民活動ファンド助成金
当協議会積立金	75,000	100,413	25,413	総合案内板製作費予算超過分を補填
支援金	50,000	49,982	-18	ガイドブック製作費相当分
収入合計	A 505,000	B 530,395	B-A 25,395	発展コースの場合：事業費決算額 530,395円×80% = 424,316円 助成金の申請限度額 420,000円
項 目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
総合案内板製作費	350,000 (350,000)	377,784 (350,000)	27,784	設置数1基(二柱式) 表示面製作費 (w1400×H1000、支柱込)：172,584円 (税・振込手数料込) 設置費：205,200円 (税込)
丸太ベンチ製作費	105,000 (30,000)	102,629 (30,000)	-2,371	加工丸太代 (座+台2)5脚：79,110円 (税・振込手数料込) 水性防腐塗料：10,692円 (税込) ポルト等結合用金物、木栓用丸棒：4,204円 (税込) コンクリート平板：8,623円 (税込) ※その他油性防腐塗料及び刷毛等は協賛者より寄贈
ガイドブック製作費	50,000 (0)	49,982 (0)	-18	900部冊子材料・印刷・製本代：49,982円 (税込) ※活動の協賛者より寄贈
支出合計	C 505,000 (380,000)	D 530,395 (380,000)	D-C 25,395	
③収支決算額	B 530,395円 - D 530,395円 =	0円		【備考】

※支出額の ( ) 内は、支出のうち助成金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。

### 総合案内板の設置



前年度（松岩寺バス停脇及び平塚市消防署土沢分遣所入口（公民館入口）脇）に引き続き、飛谷津の丘に設置しました。印刷と設置は業者さんに頼みました。

### 丸太ベンチの設置

【下吉沢展望所】



吉沢八景「松岩寺」の下吉沢展望所整備活動（協議会）時（2019年2月1日（金））に、設置しました。

【ゆるぎの丘】



第36回ワークショップ時（2019年3月9日（上））に、2基設置しました。



【飛谷津の丘】



【霧降りの滝】



2019年3月13日（水）に設置しました。

### 吉沢公民館まつりでの展示



模擬店ブースでの吉沢八景事業のパネル展示や公民館屋内での協議会活動の展示を行いました。

### 東京農業大学のフォーラムでの活動報告



2019年2月16日（土）に開催された東京農大「トンボの里づくりフォーラム」において秋山会長が、協議会活動報告として「吉沢八景におけるトンボの里づくり」をテーマに講演しました。

受付番号	
受付月日	

**公益信託ひらつか市民活動ファンド 平成30年度事業報告書**

1 団体名	カベラ日本語の会	
2 活動・事業名	「ボランティアのための養成プログラム」作りを通じた事業の継続と増える技能実習生対応の強化	
3 コース区分 ・助成額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ <b>発展コース</b>	16万円
4 実施期間	(開始期日) 平成30年 4月 1日 ~ (完了期日) 平成31年 3月 31日	
5 活動・事業の目的  申請書と同じ内容を記入してください。	<p>平塚市には多くの日本語を母語としない市民がいる。カンボジア、ベトナム、ラオスからの難民の方、国際結婚で日本に来た方、仕事を求めて日本に来た方、技能実習生として来日した方、仕事で来日した方等様々である。 そのためカベラ日本語の会に求められるニーズも多様化し増加している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.生活をサポートする</li> <li>2.子供や家族とのコミュニケーション</li> <li>3.仕事を得るため、また仕事に必要な資格を取る</li> <li>4.本国に帰って日系企業に就職するために日本語の資格を取得</li> <li>5.日本での仕事に必要</li> </ol> <p>最近、技能実習生や企業研修生が増え3.4.5項目のニーズが高まっている。一方ボランティアの日本語支援レベルに差があり、また学習者の増加に伴いボランティアが不足している。2017年度ひらつか市民活動ファンドを利用し自前で養成するための「ボランティア養成プログラム」の原案を作成してきた。2018年度は2017年度の成果を基に、内容を深掘し試作テキストを作成する。2019年度は内容を検証しながらテキストを完成させる。さらに2020年度にこのテキストを用い、ボランティア養成講座を開催する。これにより事業の自立を目指す。設立26年目に入り、事業を継続し最終的にカベラ日本語の会が住み良い共生社会に貢献することを目的とする。</p>	
6 実施した内容  活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。  ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 月一回の定例会で「ボランティアのための養成プログラム」作成ミーティングを開催。合計10回開催</li> <li>(2) H29年度で作成したプログラムの目次に基づき担当を決め文章化し、その内容を参加者全員で2回レビューを行い、試作版を作成した。 <ol style="list-style-type: none"> <li>0章：心構え</li> <li>1章：知識・スキル</li> <li>2章：学習者にとって役立つ情報</li> <li>3章：みんなの日本語第8課の具体的教授方法と実践</li> <li>4章：日本語の文字と音</li> <li>5章：読み書き</li> </ol> </li> <li>(3) 特に1/19、2/16は坂内泰子先生に加わっていただき3章4章を中心に外国人の増加を踏まえ全般にわたりご意見をいただき議論してまとめた。</li> <li>(4) 多くの学習者が技能研修生として働いている企業(菱化工業含2社)を訪問し、企業からのニーズを調査した。その結果日常生活のルールを日本語支援を通じて教えて欲しいとのニーズを得、上記プログラムに反映させた。</li> <li>(5) イベントを通じて実用的な日本語の習得を図った。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 12月16日ボウリング大会開催29人参加</li> <li>② 各教室でクリスマス会12/19、新年会1/9、いちご祭り3/2を開催。</li> </ol> </li> </ol>	

<p><b>7 得られた成果・効果</b></p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>(1) 合計10回のミーティングで「ボランティアのための養成プログラム」の試作版を作成した。</p> <p>(2) 0章から5章までの詳細を議論することで必要性の再認識ができた。</p> <p>(3) 各章の担当を決めて文章化することでボランティア相互のレベルアップが図れた。</p> <p>(4) 坂内泰子先生と議論し、まとめたことで「ボランティアのための養成プログラム」の平塚ならではの方向性と独自性を入れて、文章化することができた。</p> <p>(5) 日本語能力試験をサポートした結果多くの学習者が N3 に合格し、学習者の夢の実現をサポートした。</p> <p>(6) 日本語力が向上し学習者の仕事のレベルアップに貢献した。</p> <p>(7) カベラ日本語の会の特徴である多様な文化や価値を受け入れ、相互の成長を共に喜ぶ活動を継続できた。</p>
<p><b>8 反省点・課題</b></p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>(1) 2年にわたる活動のため、初期に議論した目的が薄らいでしまった。そこで過去に議論した模造紙を出し、自分たちの強み弱みをもう一度再確認して、「ボランティアのための養成プログラム」の目的や意義を再確認して進めた。</p> <p>(2) 来年度「ボランティアのための養成プログラム」を完成するため、さらに絵や写真、図などを作成する必要がある。仕事量が多くなるため、多くの人の力を借りて活動する必要がある。</p> <p>(3) イベントの開催では、中央公民館教室に負担がかかり、アンバランスを改善するため、全体のイベントと各教室でのイベント開催に切り替えた。その結果教室の学習者にあわせた、独自性が出て好事例となった。</p>
<p><b>9 今後の活動計画・事業展望等</b></p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うのであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>(1) 2019年度は平塚市市民活動推進補助金の発展コースの補助金による支援をいただき、「日本語ボランティア養成マニュアル」を完成させる。</p> <p>(2) 内容の深堀と写真、図、構成をさらに検討し使いやすいマニュアルにまとめる。</p> <p>(3) 2020年度はこのテキストを用いて、ボランティア養成講座の開催を計画する。</p> <p>(4) 4月より新たな特定技能1号2号の制度がスタートするが、法令・制度がまだまだ決定されず見切り発車のため、新制度を調査し学習者の支援に役立てていく。</p> <p>(5) イベント開催についても、教室ごとのニーズが異なるため、各教室にあった内容、並びに運営方法に改善していく。</p>

10 活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、助成対象事業に限定した収支を記載してください。

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的内容 (増減理由や積算根拠)
助成金	160,000	160,000	0	ひらつか市民活動ファンド助成金
会費	26,500	31,460	4,960	会費 1500円×29人=43,500円の内の一部
① 収入	30,000	29,000	-1,000	ボウリング大会：1,000円/人×29人=29,000
収入合計	A 216,500	B 220,460	B-A 3,960	発展コースの場合：事業費決算額 220,460円×90%= 198,414円 助成金の申請限度額 190,000円
項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的内容 (増減理由や積算根拠)
教材費	52,200 (52,200)	66,345 (66,345)	14,145	教科書の新版への切り替えや、より使いやすいテキストのリンクエースなどが多かった事、またマニキュア作りで参考になる教材を購入のため費用増。マニキュア作り用 (¥11,655)、各教室テキストの新版化他 (中央:18,338、活動:17,320、横内:18,532)
アドバイス費	20,800 (20,800)	8,800 (8,800)	-12,000	「ボランティアのための養成プログラム」づくりで、神奈川県立医国語文化アカデミア坂内教授アドバイス料 8,800円、招聘回数が2回に留まった。
イベント費	51,500 ( )	58,087 ( )	6,587	学習者が参加できる日を選び、計画以上の学習者の参加しが得られたため費用増。 ボウリング大会補助金:39,120、いちご狩り:10,000、新年会 :8,967
教室活動・定例会費	32,000 (27,000)	27,228 (24,855)	-4,772	コピー費 (活動センター6,699、横内:6,250) 定例会費 (仮製本代:10,920、事務用品:3,359(コピー、ポス্ট、模造紙、))
試作テキスト作成委託費	60,000 (60,000)	60,000 (60,000)	0	「ボランティアのための養成プログラム」原稿の編集イラストレーターデータ作成委託費用。
支出合計	C216,500 (160,000)	D220,460 (160,000)	D-C 3,960 ( )	
③ 収支決算額	B 220,460円 - D 220,460円 =	0円		【備考】

※支出額の ( ) 内は、支出のうち助成金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。



「日本語ボランティア養成プログラム」ミーティング



前年度の目次にさらに追加修正



各章を文章に起こした



2019年1月19日坂内先生を交えて議論



2019年2月9日坂内先生を交えてミーティング

ボランティアは“お手伝い”  
主役はあくまで“学習者”

- 日本語ボランティアの心は10ヶ条
- 1 アラトな心で接する、勇気づけよう  
ボランティアは、学習者の成長を助けること。学習者が安心して学べる環境を整えることが大切です。
  - 2 学習者の成長を促すこと、学習者主体  
学習者の成長を促すことがボランティアの使命です。学習者の主体性を尊重し、学習者自身が学ぶ機会を創出することが大切です。
  - 3 学習者が「達成感」を感じられるように  
学習者が「達成感」を感じられるように、学習者の成長を促すことが大切です。学習者の成長を促すことがボランティアの使命です。
  - 4 学習者の生活での「あからない」をなくす  
学習者の生活での「あからない」をなくすことがボランティアの使命です。学習者の生活での「あからない」をなくすことがボランティアの使命です。

01 ボランティアを始める前に  
知っておくべきこと

学習者について

01. どのような学習者にも対応できる学習者があるのか？

1. 学習者は年齢・性別・出身も立場もさまざまです。

2. 学習者は年齢・性別・出身も立場もさまざまです。

3. 学習者は年齢・性別・出身も立場もさまざまです。

試作版作成

中央公民館 2018 年度活動状況



市民活動センターの活動状況





横内公民館教室の活動状況





2018年12月16日ボウリング大会



2019年1月9日（水） カベラ日本語教室活動センター「新年会」

①の「かんぱーい！」



②ティーパーティーのスタート



③ゲーム「かるた」



受付番号

受付月日

## 公益信託ひらつか市民活動ファンド 平成30年度事業報告書

1 団体名	親と子の寺子屋ふれあい自遊塾	
2 活動・事業名	指導者養成研修会、講演会、親子テーブルゲーム大会	
3 コース区分 ・助成額	(以下のどちらかのコースを○で囲んでください) 入門コース ・ ○発展コース	15万円
4 実施期間	(開始期日) 平成30年4月1日	(完了期日) 平成31年3月31日
5 活動・事業 の目的  申請書と同じ内容を 記入してください。	<p>現在、活動は参加親子に好評であり子どもの成長が実感できるが、情緒、社会性の成長には、親や仲間と安心できるかかわりあいや遊びが不可欠であるとして認識する親は少ない。理解はしても勉強や習い事優先になってしまう。TVゲームの普及もあって、人間関係の希薄化が進み、子どもの悩みやストレスは深刻に増え続け、思春期以降の不登校や引きこもりといった要因となっている。3歳までの子育て支援は手厚くなってきているが幼児・学童期の支援は手薄である。</p> <p>これからを生きる子どもたちのために、地域のシニア世代と専門家が力を合わせ行政が手の届きにくいぬくもりある人間関係と自己肯定感を高める機会を良質の凝縮した体験として多くの子どもたちに提供し、子どもの諸問題の予防と軽減、回復につなげる。今年度は発達障害児など人間関係の苦手な子どもたちをも視野に入れた活動としたい。</p> <p>本活動の趣旨を広め、多くの親子に出会いと遊び体験の機会を多く提供することを目的に、30年度は次の新事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 指導者養成講座の開催</li> <li>2) 親向けに、遊びと心の成長、および療育に関する講演会</li> <li>3) ふれあって遊ぶ要素が凝縮された親子テーブルゲーム大会開催</li> <li>4) 幼稚園保育園など向けにテーブルゲーム貸し出し事業</li> </ol>	
6 実施した 内容  活動・事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数など)について具体的に記入してください。  ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 指導者養成講座の開催 5回開催、講師は外部および内部の臨床心理士 内容：対象を親、子ども関連の仕事をしている及び仕事をしたい人とした。発達についての知識と対応についての学習や自分への気づき体験などを通して育児不安解消、支援者不安解消。親と支援者の交流。親、支援者自身の成長を図った。 実施日：9/6、9/27、10/18、11/15、12/13、 実施場所：市民活動センター 参加人数：計延べ75名</li> <li>2) 予算の関係で実施に至らず。</li> <li>3) 夏休み親子テーブルゲーム大会開催 対象：3~10才位の子どもとその保護者 内容：ゲーム、小麦粉粘土遊びと気持ちの振り返りや呼吸法、ミニ講話など 実施日：8月19日(日) 実施場所：崇善公民館 参加45組、150名 臨床心理士2名が6件の相談を受けた。</li> <li>4) 保育園、小学校支援級、個人にテーブルゲーム貸し出し事業実施 なじみにくい子どもとの関係が近くなった、言葉が通じないが、ドイツの子どもとゲームで遊べた、近所の子どもとゲームで遊べたなどの報告を受ける。</li> </ol>	

<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>活動・事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p> <p>また、アンケート等で参加者や受益者（サービスを受けた方）の評価がわかる場合は、記入してください。</p>	<p>1) 指導者養成講座 子どもの心の成長を支援する技能を持つスタッフの人材育成を兼ねており、2名が入会した。今後も継続研修することで人材育成を本格化したい。放課後等デイサービスなどでの従事者も参加、現在の仕事の能力向上につながった。</p> <p>2) 夏休み親子テーブルゲーム大会 ・チラシ、地域誌、湘南ナバサ出演など活発な広報活動により多数の参加があった。 ・父親含む家族参加が多かった。 ・スタッフはお揃いのバンダナを付けたため分かりやすかった。 ・子ども、中高生ボランティアも活躍、自分は役に立つ存在と自己肯定感につながった。 ・ベテラン臨床心理士による子育て相談は6組、開始後予約がすぐ埋まった。気軽に専門的な相談の場が求められていることを実感した。親が相談の間、高校生ボランティアが相手をした子どもは、後になっても、「またあのお姉ちゃんたちと遊びたい」と繰り返し返していたという。双方にとって意味ある体験をしたと思われる。ミニ講話に子どもたちも聞き入っていた。 ・5段階評価のアンケートによると全員が「とてもよかった、よかった」と回答し、機会があれば「ぜひ参加したい、参加したい」という。回答は38名。 ・昨年に引き続き今年も参加した親子が多く、また浅間祭、公民館まつりなどでも昨年来た家族が参加、ワークショップ参加の母が父を連れて参加するなど活動が定着してきたと感じている。</p> <p>3) 個別相談は12件。関係がよくなったアスペルガー児、不登校が改善された子どももいる。</p>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したり、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p>ゲーム大会、イベント参加は、親子が楽しく向き合う機会を提供することができ、リーフレット配布などにより啓発活動にもなった。しかし、ワークショップにつながる親子は少なかった。</p> <p>1) 今後人材育成と経費が大きな課題となっている。 2) 行政の協力連携の必要性を強く感じている。 3) 啓発活動については、チラシの裏に行政のいじめ暴力防止の取り組みを紹介、子どもの発達成長はすべて遊びを中心に展開することを記載するなど努力したが限界がある。また活動を増やせば増やすほど費用の問題が生じる。子育ての街平塚の支援を引き続きお願いするため3回日の助成申請をした。 4) カード・ボードゲームは、病院で発達障害児の療育、ゲーム依存の治療にも活用されていることがわかった。個別対応、放課後等デイサービスなどに活動を広げたい。 5) 指導者養成講座を継続実施したい。「ボードゲーム体験は早ければ早いほどいい」「人として成長することがわかっている」など有識者の意見がある。保育園での成果を考えると各公民館や幼稚園、保育園への指導者派遣により活動を広めたい。 6) 貸し出し事業について 数的に足りないため、個人が借りて学校、幼稚園などの貸し出す程度にとどまることが分かった。</p>
<p>9 今後の 活動計画・ 事業展望等</p> <p>活動・事業について今後も継続的に行うのであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>子どもたちの自己肯定感を高め、対人関係を育んで心の成長を図るために、臨床心理の立場から支援の輪を広げたい。</p> <p>1) ワークショップの内容充実と継続、拡大 ・他の公民館や幼稚園、保育園にも出向いて実施 ・発達障害児を対象としたワークショップの実施</p> <p>2) ゲーム大会、公民館祭りなどイベントにできるだけ参加</p> <p>3) 遊びの重要さの啓発活動 ・広報活動 ・ゲームの貸し出し事業 ・親への研修</p> <p>4) 個別相談事業の実施 その他</p> <p>5) 人材育成や研修、講座に関して、他の臨床心理士に働きかけ賛同と協力を得る。</p>



### 10 活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、助成対象事業に限定した収支を記載してください。

項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
助成金	150,000	150,000	0	ひらつか市民活動プロジェクト助成金
指導者養成研修会参加費	48,000	75,000	27,000	1,000円×75人
講演会、ゲーム大会参加費	20,000	13,300	-6,500	300円×15家族(予算500円×40家族)
フリーマーケット物品販売	20,000	3,500	-16,200	
寄付	42,000	14,917	-27,083	
収入合計	<b>A</b> 280,000	<b>B</b> 257,217	<b>B-A</b> -22,783	発展コースの場合：事業費決算額257,217円×80%=205,773円 助成金の申請限度額 200,000円
項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的な内容 (増減理由や積算根拠)
指導者養成研修会講師謝礼	30,000 (15,000)	40,000 (15,000)	10,000	外部講師12,000円×2回、16,000円×1回
コンサルタント料、相談員	60,000 (50,000)	50,000 (50,000)	-10,000	コンサルタント料10,000円×2回、ゲーム大会相談15,000円×2人
講演会講師謝礼	( 0 )	( 0 )	0	
広報費	60,000 (40,000)	45,343 (40,000)	-14,557	チラシ(印刷、デザイン料)34,407円、引手5,520円、サーバー代3,240円、A1用紙他2,176円
物品購入	50,000 ( 25,000)	58,098 ( 25,000)	8,098	ゲーム代37,608円、書籍代4190円、ペンダラ4,672円、インク、メモリー代5,820円、論議カード他6,099円
有償ボランティア謝金	60,000 ( 20,000)	37,956 ( 20,000)	-22,044	ゲーム大会、青少年会館浅間祭、中央公民館中央フェスタ、八幡宮1,000円×4人=4,000円、図書券15,500円、お品代21,456円
交通通信費	( 20,000 )	( 25,820 )	5,820	横浜〜平塚他
支出合計	<b>C</b> 280,000 (150,000)	<b>D</b> 257,217 (150,000)	<b>D-C</b> -22,783	
<b>③収支決算額 B 257,217円 - D 257,217円 = 0円</b>				【備考】

※支出総額の( )内は、支出のうち助成金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し(コピー)を添付してください。

## 2018年度 親と子の寺子屋ふれあい自遊塾活動風景



2018.8.19 崇善公民館

「夏休だよ

ドイツのテーブルゲームに全員集合！」

45組、約150名が参加。男性(父、祖父)の姿が目立ちました。ベテラン臨床心理士による相談は、予約6組枠がすぐいっぱい。気軽、かつ専門性が高い相談が求められていると思いました。

「参加して楽しかった」、「また参加したい」と、ほとんど全員がアンケート回答してくださいました。1



全上

毎月第3日曜日活動に参加している親子が、昨年同様、ボランティアとして活躍。年齢にあったゲームやルールを参加者に教えてくれました。「自分は役に立つ存在」と実感したようです。小さなお子さんは、「次は私も」と、来年への期待を語っていたとか。

「昨年に比べ成長したわが子が頼もしく見えた」と親御さんの感想です。

お揃いのバンダナが仲間意識と意欲を高めました。



2019.1.27 中央公民館ちゅうおうフェスタ

約40組、100名が随時立ち寄りゲームを楽しみました。父親参加が多いです。一人で来られた高齢男性の相手をしたのは高校生ボランティアです。

人が向き合う機会を提供できたと思っています。

受付番号	
受付月日	

公益信託ひらつか市民活動ファンド  
平成30年度 組織基盤整備コース事業報告書

1 団体名	特定非営利活動法人ぜんしん
2 活動・事業名	人材募集・育成および信頼獲得に向けた中・長期ビジョン策定事業
3 助成額	20万円
4 実施期間	(開始期日) 平成30年4月1日 ~ (完了期日) 平成31年3月31日
5 組織基盤整備の目的 申請書と同じ内容を記入してください。	<p>情報発信ツールを強化し、周知活動を広げ、新たに定例活動に参加する当事者親子ならびにボランティアスタッフを募る。また、「団体説明会」等を開催し、人材不足の解消と育成を図る。更に、外部コンサルタントを招き、人材育成、支援メニューの拡充に加え、団体の成果・評価を可視化する手法等を学んだ上で「中・長期ビジョン」を作成し、基盤整備を推し進めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット「団体説明会&amp;ボランティア募集案内」を5,500部、作成する</li> <li>・リーフレット「団体紹介」を5,500部、作成する</li> <li>・上記(a)と(b)を市内外の行政・教育機関や連携する市民活動団体等へ配布し、地域の関係者や市民への活動認知度を更に高める</li> <li>・新規参加者やボランティア希望者を募る「団体説明会」を年3回、開催する</li> <li>・新規参加者(当事者親子およびボランティアスタッフ)を「15名」獲得する</li> <li>・新規参加者から当事者スタッフとなる方を「2名」増やす</li> <li>・新規参加者から専門的な知識を有するスタッフならびにボランティアスタッフ(元当事者)として定着する方を「2名」増やす</li> <li>・人材育成の場となる「交流会」を年に3回、開催する</li> <li>・「会計ソフト」を導入し、経理に携われる方を「1名」獲得する</li> <li>・「中・長期ビジョン」の更新、作成会議を年2回、実施する</li> </ul>
6 実施した内容 事業の実績(実施内容・実施日・場所・参加人数、作成数など)について具体的に記入してください。 ※ 申請書の内容と相違があった場合はその変更点と理由を記入してください。	<p>①「団体説明会&amp;ボランティア募集案内パンフレット」&amp;「団体リーフレット」の作成： 平成30年4月中旬 パンフレット&amp;リーフレット内容検討・原稿作成 平成30年5月上旬 パンフ&amp;リーフレットデザイン委託・発注 平成30年5月下旬 市内外の行政機関等へ配布(各2,000枚) 平成30年10月中旬 市内外の行政機関等へ配布(各2,000枚) 平成31年1月中旬 市内外の行政機関等へ配布(各1,500枚)</p> <p>②「会計ソフト」の導入： 平成30年5月下旬 会計ソフトを導入し、以後、経理に携われる方を募る</p> <p>③「団体説明会」ならびに ④「交流会」の開催(各年3回)： 平成30年6/24(日)13時～ 第1回 団体説明会&amp;交流会の開催 8名参加 平成30年11/4(日)14時～ 第2回 団体説明会&amp;交流会の開催 13名参加 平成31年2/17(日)14時～ 第3回 団体説明会&amp;交流会の開催 11名参加 ※前半と後半の各2時間(各1時間半)を「説明会」、「交流会」として実施</p> <p>④「中・長期ビジョン」を策定する為、コンサルタントを招く(年2回)： 平成31年2/21(木) 第1回「中・長期ビジョン」策定会議を開催 平成31年3/13(水) 第2回「中・長期ビジョン」策定会議を開催</p> <p>⑤「就労体験の場」を設ける(年6回)： 上記「団体説明会」開催前に準備・作業日を5/26、10/12、H31、1/11に設ける 上記「団体説明会」等の開催当日に3回、就労体験の場を設けた</p>



<p>7 得られた 成果・効果</p> <p>事業を実施したことで良かった点、得られた成果、確認された効果などについて記入してください。</p>	<p>&lt;パンフレットやリーフレット等のツールを活用したことによる成果・効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体説明会・交流会への参加を促す為だけに留まらず、その後、当事者親子や支援機関等へ団体の「活動紹介ツール」として大いに活用できた</li> <li>・経理ソフトの導入により、事務処理の負担が低減されつつある</li> </ul> <p>&lt;団体説明会・交流会等を開催したことによる成果・効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体説明会・交流会に訪れた新規利用者数：10名</li> <li>・上記の内、「これから定例活動等を利用したい」と考えている人数：6名</li> <li>・ボランティアを希望し、説明会等に訪れた新規利用者数：3名</li> <li>・「就労体験の場」を利用した人数：26名</li> <li>・「就労支援の場」では、当事者の若者が告知パンフレット等の発送作業や「説明会」ほか当日の会場設営・撤収、掃除等の作業を行った。当事者は、自発的に役割分担をしながら作業を行うシーンも見受けられた。自立意欲を高める為の新たなコンテンツを拡充できたと考えている。</li> </ul> <p>[参考/平成30年4月から平成31年3月末までの活動を通じた成果・効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居場所、平塚市協働事業・相談会、講演会等の新規利用者数：116名</li> <li>・ボランティアとして活動に定着した人数：2名増加・会員数：51名へ増加</li> </ul> <p>&lt;コンサルタントを招いたことによる成果・効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信頼を得る為の情報発信手法(スマグザー)による成果・評価シート作成等)</li> <li>・改訂した「中・長期ビジョン(事業計画書)」の活用方法一冊ほかへ配布</li> <li>・団体が目指すべき「自立支援の在り方」や「業務負担の低減手法」等</li> </ul>
<p>8 反省点・課題</p> <p>活動・事業を実施した結果、反省点や課題としてあげられる事項について記入してください。</p> <p>また、反省点や課題の改善方法を検討したため、解決を図った場合は、その内容を記入してください。</p>	<p><b>【反省点】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①昨年度とほぼ同一内容の「説明会」等を実施したが、今年度は、新規利用者らを団体の定例活動等に迎え入れることが出来なかった。</li> <li>②不登校等の経験がないボランティア希望者へ口頭で、当事者心理等の説明を丁寧に行ったが、当事者理解のギャップを埋めることに困難が生じた。</li> <li>③「説明会」や「交流会」という名称では、より多くの市民が「参加したい」と、関心を抱きづらい可能性がある。</li> <li>④「説明会」の開始時刻を13時からと定めたが、会場の準備時間にゆとりがない状態で、慌しく準備を終え、来場者を受け入れざるを得なかった。</li> <li>⑤コンサルタントを依頼する時期が、多忙により、大幅に遅れてしまった。</li> </ol> <p><b>【改善策】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「説明会」等という団体からの一方的な情報発信ではない、当事者参加型のイベント等へコンテンツを改編し、興味や関心を高め、定例活動等へ導く。</li> <li>②今後、「当事者親子との接し方ガイドライン」に類するツール作成し、ボランティア希望者のミスマッチを回避することや参加意欲の促進に役立てたい。</li> <li>③外出できない当事者へ「交流会にどうぞ」では、ハードルが高い。名称の見直しやSNS等を活用した活動の可視化で、当事者の不安等を事前に取り除く。</li> <li>④2回目以降から「説明会」の開催時刻を13時から14時に変更し、会場の準備等に十分な時間を確保した。</li> <li>⑤スケジュール管理スタッフを決め、予定通りに実行されるように改める。</li> </ol>
<p>9 今後の 活動計画・ 事業展望等</p> <p>事業について今後も継続的に行うものであれば、その計画や、団体としての今後の活動計画・事業展望等を記入してください。</p>	<p>情報発信ツールを引き続き、活用することで、人材不足を解消する。</p> <p>更に、人材育成やコンテンツの拡充等を検討する「中・長期ビジョン」を策定(改編)するには、長期的な取り組みが必要な為、下記の通り、当該組織基盤事業を継続して実施していくことを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやSNS等を利用した情報発信強化</li> <li>・民間助成を活用する等し、名称・内容等を改めながら引き続き、「団体説明会」と「交流会」を開催し、新規参加者やボランティア希望者らを惹く</li> <li>・「就労体験の場」を増設</li> <li>・人材育成強化と支援コンテンツの拡充、居場所の常設化(週5日開催)等に向けた「中・長期ビジョン」のアップデート</li> </ul>



# 10 活動・事業の収支決算書

※団体全体の収支ではなく、助成対象事業に限定した収支を記載してください。

収 入	収 入 目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的内容 (増減理由や積算根拠)
① 収 入	助成金	200,000 円	200,000 円	0 円	ひらつか市民活動ファンド助成金
	会費	60,000 円	40,219 円	△19,781 円	5,000 円×8 名 (正規会員) + 219 円 (賛助会員費から充当)
	寄附	11,120 円	4,500 円	△6,620 円	団体説明会の参加者から (11/4 : 3,000 円、2/17 : 1,500 円)
	収入合計	A 271,120	B 244,719	B-A △26,401	
② 支 出	項目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減額 (円)	具体的内容 (増減理由や積算根拠)
	コンサルタント費	60,000 ( 60,000 )	60,324 ( 60,000 )	324	・五井利明氏の謝礼 (交通費込み) : 30,000 円×2 日 + 振込手数料
	デザイン費	20,000 ( 0 )	20,000 ( 0 )	0	・パンフレットデザイン委託料 : 10,000 円 ・リーフレットデザイン委託料 : 10,000 円
	印刷費	45,000 ( 30,000 )	47,257 ( 41,000 )	2,257	・リーフレット (カラーA4 両面印刷/3 つ折り加工) : 23,673 円 ・パンフレット (カラーA4 両面印刷) : 14,504 円・ポスター制作費 : 9,080 円
	消耗品費	58,200 ( 45,000 )	55,861 ( 45,000 )	△2,339	・会計ソフト : 43,200 円 ・説明会等で用いる文房具類 : 5,571 円 ・プリンター用インク&A4 用紙 : 6,734 円 ・紙皿とカップ : 356 円
	旅費・交通費	44,240 ( 30,000 )	19,640 ( 19,000 )	△24,600	・スタンプ交通費 (団体説明会ほか開催準備日と当日) : 平塚⇄湘南台 860 円×4 日ほか ※減額理由 : 開場から近隣のスタンプが多かった為
	通信運搬費	38,880 ( 35,000 )	36,500 ( 35,000 )	△2,380	・近隣行政機関・諸団体へのパンフレット・リーフレットの郵便費 : レターパックライト 360 円×101 通、140 円×1 通
	食糧費	4,800 ( 0 )	5,137 ( 0 )	337	・「団体説明会 (就労支援の場) & 交流会」開催口ほかのお茶菓子代
	支出合計	C 271,120 ( 200,000 )	D 244,719 ( 200,000 )	D-C △26,401	
	③ 収支決算額	B 244,719 円 - D 244,719 円 =	0 円		【備考】

※支出線の ( ) 内は、支出のうち助成金から支出する金額を記載してください。また、各支出項目についての領収書の写し (コピー) を添付してください。

## <平成 30 年度ひらつか市民活動ファンド・活動報告画像>

### ①「第1部・団体説明会」の風景

平成 30 年 6 月 24 日（日）

約 20 年間のひきこもりから回復した男性が、  
現在、団体のボランティア・スタッフとして  
活動している内容を発表しています。



### ②「第1部・団体説明会」の風景

平成 30 年 11 月 4 日（日）

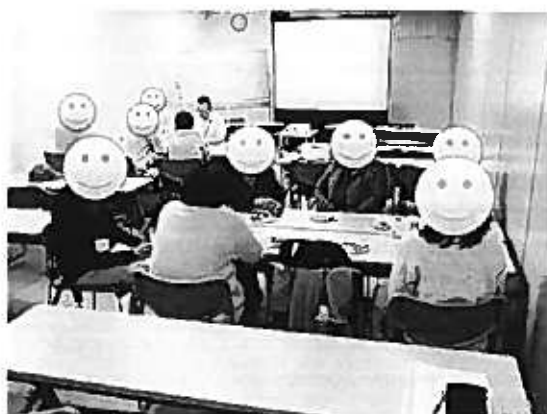
「支援内容を知りたい」という保護者や  
茅ヶ崎・綾瀬市の行政職員の方々に  
活動の特徴等を説明しました。



### ③「第2部・交流会」の風景

平成 30 年 11 月 4 日（日）

交流会では、テーブルを2つに分けて  
参加者の話を伺いながら、今後の  
支援内容等について話し合いました。

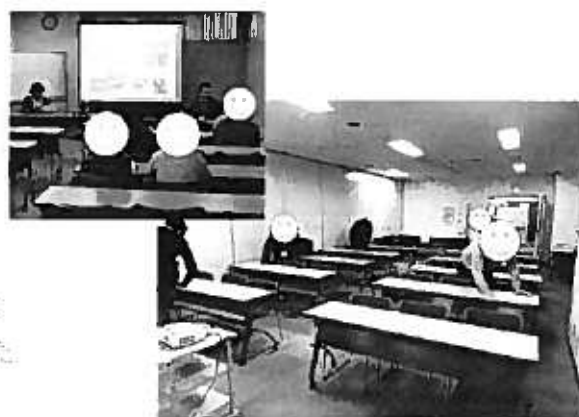


### ④「第1部・団体説明会と就労体験」の風景

平成 31 年 2 月 17 日（日）

画像上) 当事者のスタッフが、ボランティアに  
なった経緯と活動を紹介しています。

画像下) 会場所に通う、当事者たちが就労体験として  
当日の会場設営等をサポートしてくれました  
(会場のテーブルを掃除する様子)。



## ● ひらつか市民活動ファンド運営委員会

運営委員会は、市民活動や公益信託の事業に関し、専門的知識又は学識経験を有する者から構成されています。公益信託ひらつか市民活動ファンドの適正な運営を図るほか、助成金の給付の対象・給付額の審査選考を行います。

委員	藤巻 裕之	東海大学 政治経済学部 政治学科 准教授
委員	松木 紀美子	NPO 法人府中市民活動支援センター 理事長
委員	湯川 恵子	神奈川大学 経営学部国際経営学科 准教授
委員	東樹 康雅	認定NPO 法人 藤沢市民活動推進機構 育成支援マネージャー
委員	藤井 京子	一般社団法人 ソーシャルコーディネーターかながわ 理事 准認定ファンドレイザー
委員	佐藤 由美子	ほん和かママ 代表
委員	寺山 泰郎	平塚の在宅ケアを考える会
委員	横田 裕	フェニックスサービス(株) 代表取締役

## ●市民活動のための寄附を募集しています！

今後も市民活動団体の支援のため、みなさまの温かいご寄附をお願いいたします。

### ◇寄附の方法

銀行振り込み、直接持ち込み等さまざまな方法があります。協働推進課にご連絡ください。

### ◇税金の控除

ふるさと納税の制度を使って、平塚市を通して寄附をしていただくと、多い方で寄附金の9割以上の金額の税金が控除となります。(詳しくはお問い合わせください。)

### ◇いままでに協力いただいている寄附の紹介

平成31年3月31日現在

寄附氏名・団体名・企業名等	金額
市川商事株式会社 様	計 1,022,446円
市民病院売店組合 様	計 415,095円
神奈川県立平塚江南高等学校 生徒会 様	非公開
社団法人 平塚青年会議所 様	非公開
積水ハウス株式会社湘南支店 様	計 208,000円
株式会社 一平不動産 様	計 245,227円
スーパーD ステーション平塚駅前店 様	計 250,000円
湘南リンパ四季の会 様	計 21,000円
ひらつか市民活動センターまつり実行委員会 様	計 106,663円
ふくろうの会 様	非公開
NPO法人 湘南NPOサポートセンター 様	計 3,000円
NPO法人 うらら 様	非公開
ひらつか市民活動連絡協議会 様	計 10,731円
ひらつか自治体財政研究会 様	計 397,894円
千葉 英司 様	計 10,000円
熊沢 博樹 様	計 10,000円
一般社団法人 日本リンパ協会 様	計 20,000円
ペットキャップリサイクル湘南	非公開
グランドホール金目店 様	計 75,000円
その他(たすけ愛文庫)	計 954,106円
その他(募金箱等)	非公開
合計	6,630,203円

### ◇たすけ愛自動販売機(社会貢献型自動販売機)◇

飲み物を買うと、その売り上げの一部(例:販売機提供業者や設置者などから、1本につき1~3円)がファンドへの寄附となる自動販売機です。設置してくださる方を募集しています。

設置協力企業の紹介:市川商事株式会社 様/横浜銀行平塚支店 様 浜岳産業株式会社 様/  
平塚市民病院売店組合 様/湘南倉庫運送株式会社 平塚営業所 様/